

「beyond2020プログラム」群馬県 認証事業一覧

事業名	団体名	日程	会場	概要
伝統行事の情報発信事業(外部リンク)	日本正月協会	2021年8月15日～ 2022年3月31日	日本正月協会Webサイト	日本国内の伝統行事の魅力を、当協会Webサイトにて、日本語および外国語により発信する事業を引き続きおこなう。
ぐんまの伝統文化次世代継承事業「ぐんま子ども郷土芸能祭り」(外部リンク)	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2021年12月11日	ながめ余興場	県内各地に伝わる芸能は、それぞれの歴史や風土の異なる地域に暮らす人々の生活の中から生まれ伝承されてきた大切な宝です。先人から受け継いだ貴重な芸能公演を子どもが行うことにより、地域の伝統文化への関心を高めます。県内各地に伝わる芸能を継承する3団体(人形芝居・獅子舞・神楽)による公演を行います。当日会場では、車いす来場者への介助を行います。
令和3年度文化庁大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 JAPAN LIVE YELL project 「絆アートライブ in館林」(外部リンク)	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2021年12月18日	館林市三の丸芸術ホール	文化芸術を通じて次世代を担う人材の育成と活力ある地域振興の実現、更にアートを活用した新たな地域の魅力発見やにぎわいの創出に寄与するため、標記公演を開催する。 県内出身で将来を嘱望される「ぐんま新人演奏会」に出演した若手新進演奏家3名と高崎市出身で、創流100年の歴史を持ち高崎を本部とする「いけばな松風」の副家元であるとともに、群馬県華道協会事務局長も務める塚越応駿氏を招き生け花のパフォーマンス。更に、桐生市を中心に活動する「桐生洋舞連盟」加盟団体による創作バレエをクラシック音楽と融合させ発表を行う。 一部:クラシック音楽と華道のパフォーマンス 若手演奏家3名と塚越応駿氏による「音楽と生け花のパフォーマンス」(30分) 二部:クラシック音楽の演奏 若手演奏家3名によるクラシック演奏(30分) 三部:クラシック音楽とクラシックバレエ 若手演奏家3名と桐生洋舞連盟加盟団体による「音楽とクラシックバレエ」(30分)
第72回群馬県書道展覧会(外部リンク)	一般社団法人群馬県書道協会	2021年12月5日～ 12月15日	群馬県立近代美術館	漢字、かな、墨象、大字・詩文書、篆刻の5部門において広く県民一般並びに専門家による日頃の書道活動の成果を発表・展覧する機会を設け、本県における書道の普及振興及び個性的で創造力豊かな県民文化の向上を図る。 会場はバリアフリー施設である。

<p>第3回 前橋藩主 松平大和守家顕彰祭</p>	<p>松平大和守家顕彰祭実行委員会、前橋市、前橋市立図書館</p>	<p>2021年10月23日～10月31日</p>	<p>前橋市立図書館・前橋公園ほか</p>	<p>江戸時代に前橋市域を治めた四藩主「前橋四公」の一つである、前橋藩主・松平大和守家の功績を称え、その歴史的価値をこれからのまちづくりに活用するため開催する。 メインイベントの一つである火縄銃演武では、松平家お抱えの鉄砲隊であった「川越藩火縄銃鉄砲隊」の技術を今に伝える保存会が、前橋城跡である前橋公園を舞台に150年の時を超え演武を披露する。 また、松平家の家宝であった天下三名槍「御手杵の槍」に加え、幻の名刀「式部正宗」のお披露目を軸としながら、ARスタンプラリー、歴史観光ガイドなど松平家にゆかりある場所を巡る催しを同時開催することで、県内外からの誘客を図り、本市ならびに松平家の魅力を広くPRすることを目的とする。</p>
<p>東京大衆歌謡楽団(外部リンク)</p>	<p>公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団</p>	<p>2021年12月16日</p>	<p>美喜仁桐生文化会館(桐生市市民文化会館) シルクホール</p>	<p>若き4兄弟(唄:高島孝太郎、アコーディオン:高島雄次郎、ウッドベース:高島龍三郎、バンジョー:高島圭四郎)からなる東京大衆歌謡楽団による昭和歌謡のコンサートを行います。平成育ちの高島4兄弟による演奏で、昭和初期の流行歌を中心にお届けします。中高年層は懐かしいあの日へとタイムトリップをし、若い世代には新しい音楽として取り入れていただきたいと思えます。様々な世代で共有できる”古き良き昭和歌謡”を感じさせてくれるコンサートをぜひお楽しみください。</p>
<p>則重則秀の会 in 桐生(外部リンク)</p>	<p>公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団</p>	<p>2021年11月8日</p>	<p>美喜仁桐生文化会館(桐生市市民文化会館) 小ホール</p>	<p>大蔵流山本会、注目の若手狂言師、山本則重・山本則秀による『則重則秀の会』桐生公演です。お二人は能狂言を次世代に受け継ぐべく、公演のみならず児童・学生へのワークショップや指導、また国内外への能楽公演や学校普及公演など幅広く活動されています。また、2017年から「わかりやすさ、親しみやすさ」をモットーとした『則重則秀の会』を実施しており、お二人による狂言及び解説をお届けします。 狂言は初心者やお子様でも楽しめる「蝸牛」・「棒縛」を、また解説を含めたおはなしをお楽しみいただけます。子供から大人まで、狂言初心者でも楽しんでいただける内容となっておりますので、この機会に是非ご覧ください。</p>
<p>ぐんまの伝統文化普及啓発事業「ぐんま民俗芸能の四季」(外部リンク)</p>	<p>公益財団法人群馬県教育文化事業団</p>	<p>2021年10月2日</p>	<p>群馬県公社総合ビル</p>	<p>県内各地に伝わる民俗芸能は、それぞれの歴史や風土の異なる地域に暮らす人々の生活の中から生まれ、伝承されてきた大切な宝である。県内で開催される四季折々の民俗芸能を紹介する講演会や団体上演を通して、受け継がれてきた地域の伝統文化への関心を高める。 当日会場では、車いす来場者への介助を行います。</p>

桐生市制施行100周年・桐生市水道創設90周年記念事業大蔵流山本会狂言公演～山口晃×大蔵流山本会～(外部リンク)	公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団	2021年12月4日	美喜仁桐生文化会館(桐生市市民文化会館)シルクホール	<p>桐生市制施行100周年・桐生市水道創設90周年記念事業“アートと伝統芸能”を融合した新たな文化の価値を創造する夢の企画！！</p> <p>桐生市ゆかりの“文化の宝”山口晃(画家/桐生市芸術大使)と狂言大蔵流山本会の共演が実現！！</p> <p>現代美術の最先端を切り開くアーティスト山口晃のアート作品「鏡板」を用いて、人間国宝・山本東次郎率いる狂言界の“本格派”大蔵流山本会による唯一無二の狂言公演。今回、市制100周年を記念し、桐生市(“繊維・洋服の街”)にちなんだ演目『新作狂言 衣大名』(アンデルセン「裸の王様」より)を上演予定。会を締めくくる葛西聖司(スペシャルナビゲーター)、山口晃(スペシャルゲスト)、山本東次郎(人間国宝)の鼎談も必見・必聴！！</p>
GENTLE FOREST JAZZ BAND Let's Swing～レトロおしゃれジャズ～Part2(外部リンク)	公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団	2021年8月29日	美喜仁桐生文化会館(桐生市市民文化会館)シルクホール	<p>現代のヴォードヴィリアン・ジェントル久保田が率いる、21人のビッグバンド。2005年の結成以来、踊れるスウィングジャズに現代的視点を盛り込み、新たなエンターテインメントを展開している。17人の楽器隊と3人組ヴォーカル「Gentle Forest Sisters」が織り成すエキサイティングかつ笑いに溢れるライブパフォーマンスは圧巻。ジャズフェスティバルへの出演やコメディアンとのコラボレート、映画・CMへの楽曲提供など幅広いメディアに露出し、現在日本でもっとも多忙なビッグバンドといえる彼らのセレブレーションステージから目が離せない。</p> <p>注目のステージは、ちょっと懐かしいジャズのスタンダードナンバー「A列車でいこう」、「ミステイ」などを中心にオリジナル曲を演奏予定！！</p>
日本のアーティストシリーズ 2021-2022(外部リンク)	公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団	2021年7月14日～12月9日	美喜仁桐生文化会館(桐生市市民文化会館)小ホール	<p>日本人実演芸術家の芸術性の高さは、ジャンルの枠を超えて世界的にも高く評価されています。当事業では、日本人が築いてきた文化の継承を目的に、特にクラシック音楽のジャンルで積極的に若手日本人実演家にスポットをあてて紹介し、ひいては、地域住民に我々日本人が持つ芸術性の豊かさを再認識・再発見してもらうことを目的としています。そして、一方で質の高い本物の実演芸術には、人々を感動させ心を潤す力があります。地域文化の拠点である当館において、本物の実演芸術を継続的に提供することにより、実演芸術の持つ力で地域住民の感動を呼び起こし、人間らしい感性を研ぎ、豊かな地域文化を形成することを目指しています。</p>

第72回群馬県美術展覧会(外部リンク)	群馬県美術会	2021年11月20日～11月29日	群馬県立近代美術館	日本画・洋画・彫刻・工芸の4部門において、広く県民一般ならびに専門家による日ごろの美術活動の成果を発表、展覧する機会を設け个性的で創造力豊かな県民文化の向上を図る。 会場はバリアフリー施設である。
第9回GUNMAマンガ・アニメフェスタ(外部リンク)	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2022年2月26日～2月27日	大泉町文化むら	県民の個性豊かな文化の育成と創造を目指す文化芸術の祭典である「県民芸術祭」の一環として、新しい芸術として注目され、多彩な日本文化の一つである「メディア芸術」の祭典を開催することにより、創作の場や鑑賞機会を提供するとともに優れた作品を顕彰し、群馬県におけるメディア芸術の水準の向上と新しい才能の発掘を目指します。 マンガ・4コマまんが・アニメーション・イラストの4つの部門の作品を公募・展示し、マンガやアニメーションに関連するイベントを同時開催します。 会場はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。
古典の日制定記念「人形芝居公演」(外部リンク)	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2021年10月30日	安中市文化センター	平成24年9月に古典の日(11月1日)が制定されたのを記念して、地域の伝統芸能を通して古典に親しみ、伝統文化への意識高揚を図るため県内で活躍している人形芝居各座の公演を開催する。今回は津久田人形操作伝承委員会 桜座(洪川市赤城町)、八城人形浄瑠璃 城若座(安中市松井田町)が出演します。 *新型コロナウイルス感染予防対策を講じて開催いたします。
ワンコインコンサート 2021-2022(外部リンク)	公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団	2021年5月27日～2022年3月19日	美喜仁桐生文化会館(桐生市市民文化会館)シルクホール	ランチタイムに約1時間500円で楽しめるワンコインコンサート 多種多様なジャンルを取りそろえ、「本物をリーズナブルに」「誰もが気軽に楽しめるコンサート」をテーマにお届けします！！ 注目のラインナップは、「怪談和尚」としてその名を轟かす「三木大雲」の怪談や新進気鋭の若手箏曲家「LEO」が登場する邦楽公演など全8公演。東京オリンピック2020を機に家族みんなで「日本の文化」に触れてみませんか。 0歳(3歳以上有料)から入場できる公演もございます。ぜひファミリーでお楽しみください！！ ※数に限りがございますが、車いす席のご用意もございます。

第69回群馬県写真展覧会(外部リンク)	群馬県写真文化協会	2021年9月19日～9月25日	群馬県庁 県民ホール	<p>群馬県民の写真芸術への創作力、鑑賞力を高めるため公募により作品を募集し、委嘱作家の作品と入賞・入選作品を展示します。展覧会はバリアフリー化された県庁1階県民ホールで、車椅子の方もゆっくり鑑賞していただけるスペースを確保して展示し、県内に限らず県外にお住まいの方も含む多くの人に鑑賞してもらえるよう開催することにより、写真芸術の魅力を発信します。 *新型コロナウイルス感染予防対策を講じて開催いたします。</p>
特別展「新・すばらしき群馬のはにわ」	群馬県立歴史博物館	2021年2月27日～5月9日	群馬県立歴史博物館 企画展示室	<p>群馬県域は、優れた造形の埴輪が多数出土し、全国でも有数の埴輪生産・消費地である。当館では多数の優れた埴輪群を保管しており、それらは当時の地域社会の理解に欠かせない。令和2年秋の綿貫観音山古墳出土品の国宝指定を機に、県内の埴輪を一同に集め、地域の歴史について理解を深めてもらうことを展示の目的としている。当館は、平成28年にリニューアルし、出入り口のスロープや視覚障害者誘導用ブロックの設置、視聴覚室における車椅子座席の増設を行い、障害者にとって訪問しやすい施設となっている。また、今回の展示では、展示解説パンフレットの英訳版を作成し、外国人にも日本や群馬県地域の古墳時代の特色を容易に理解できる内容を目指している。</p>
もう一度、移動音楽教室～そして未来へ～	群馬県、群馬県戦略的文化芸術事業実行委員会	2021年3月28日	笠懸野文化ホール	<p>群馬交響楽団が、昭和22年から続く移動音楽教室をテーマに、特別公演を開催。群馬交響楽団の歴史を振り返る映像とともに、群馬県民なら一度は聞いたことがある、移動音楽教室で演奏されてきた数々の名曲をお届け。さらに、民謡「八木節」をアレンジした「八木節の主題による楽器紹介曲」を「2021年版」にバージョンアップし、本公演で初披露。公演は車椅子席、ボディソニック(体感音響システム)席も設け、障害者の方でも快適にご覧いただける体制を整える。</p>

<p>前橋ミュージカル同好会 BaMbina 第11回公演「ME AND MY GIRL」</p>	<p>前橋ミュージカル同好会 BaMbina</p>	<p>2021年7月17日～7月18日</p>	<p>ベイシア文化ホール 小ホール</p>	<p>前橋近郊に在住・在学の高校生女子だけのミュージカル同好会「BaMbina」による「ME AND MY GIRL」の公演を行う。本企画の目的は、ミュージカルという文化を通して、高校生同士の親睦や技術の向上、地域文化および地域文化教育への貢献を目指そうとするものである。公演時間は2幕3時間で、高校生らしさが出る脚本に編集しフレッシュなミュージカルを予定している。公演の運営だけでなく、その活動の発信なども高校生が主体的に取り組んでいる。会場は車椅子の方でも観劇できるよう配慮されている。また、地域連携の一環から、共愛学園前橋国際大学と共催し、本イベントの事務局は同大学のGLocal officeに置いている。</p>
<p>群響プレミアムアフタヌーン”和洋饗宴”</p>	<p>群馬県、群馬県戦略的文化芸術事業実行委員会</p>	<p>2021年2月11日</p>	<p>太田市民会館</p>	<p>「伝統と革新」をテーマに、群馬交響楽団と洋楽器のバンドネオン、伝統文化の雅楽が共演し、新たな魅力を発信する公演を開催。 群響との共演で美しい音色を奏でてきた、バンドネオン奏者「三浦一馬」、ジャズなど他ジャンルとの共演等、幅広く活動が続けている雅楽師「東儀秀樹」をソリストとして迎え、これまで群響と数々の共演をしてきた「松尾葉子」が指揮する「プレミアム」なコンサートをお届けする。 公演は車椅子席も設け、障害者の方でも快適にご覧いただける体制を整える。</p>
<p>令和2年度「ふるさと群馬のたからもの」文化財の絵コンクール 入賞作品の展示</p>	<p>群馬県</p>	<p>2020年11月14日～11月23日</p>	<p>群馬県庁 31階 観光物産展示室</p>	<p>群馬県では、児童生徒が自分たちの周囲にある文化財に気付き、身近なものとして興味関心を持ってもらうために「ふるさと群馬のたからもの」文化財の絵コンクールを実施し、群馬県内にある指定文化財等を題材にした絵画を募集した。その入賞作品(最優秀賞 小学生の部1点・中学生の部1点、優秀賞 小・中学生の部8点、奨励賞 小・中学生の部16点)を展示する。</p>
<p>令和2年度「世界遺産劇場」市川海老蔵特別公演</p>	<p>群馬県、群馬県戦略的文化芸術事業実行委員会、世界遺産劇場実行委員会</p>	<p>2020年10月26日</p>	<p>富岡製糸場西置繭所前広場</p>	<p>世界遺産「富岡製糸場」の西置繭所グランドオープンを記念し、伝統文化をテーマにした、世界遺産劇場を開催します。(2020年度文化庁日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業(文化資源活用推進事業)) ○10月26日 市川海老蔵特別公演 17時開場、18時開演 チケット料金：S席12,000円 A席10,000円(群馬県民特別価格9,000円)</p>

令和2年度「世界遺産劇場」-BUNRAKU beyond-人形浄瑠璃×初音ミク「恋娘絢迷宮」	群馬県、群馬県戦略的文化芸術事業実行委員会、世界遺産劇場実行委員会	2020年10月25日	富岡製糸場西置繭所前広場	世界遺産「富岡製糸場」の西置繭所グランドオープンを記念し、伝統文化をテーマにした、世界遺産劇場を開催します。(2020年度文化庁日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業(文化資源活用推進事業)) ○10月25日 -BUNRAKU beyond-人形浄瑠璃×初音ミク「恋娘絢迷宮」17時開場、18時開演 チケット料金:S席11,000円 A席6,500円(群馬県民特別価格5,500円)
おうちで群響「あなたもアーティスト!」	群馬県、群馬県戦略的文化芸術創造事業実行委員会	2020年5月25日～2021年3月31日	YouTubeチャンネル「群馬交響楽団 GUNMA SYMPHONY」	新型コロナウイルス感染症対策で移動音楽教室が開催できない中、子どもたちに音楽を楽しんでもらおうと、「おうちで群響」シリーズの新たな取組として「あなたもアーティスト!」事業を展開。小・中学校の教科書等で掲載されている曲を中心に、自宅に居ながら群馬交響楽団の楽団員と一緒に演奏や歌を楽しめる動画を配信する。
字幕付神楽公演	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2021年3月6日	群馬県公社総合ビル	日本語と英語の字幕を付けた神楽公演を行います。出演は、渋川市の重要無形民俗文化財に指定されている下南室太々神楽講です。養蚕の習俗を表現した「養蚕の舞」を披露します。
ぐんま伝統歌舞伎の祭典	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2021年1月30日	吉岡町文化センター	県内の歌舞伎団体に発表の機会を提供し、地域に残る伝統文化を県民に広く紹介します。 出演団体:平出歌舞伎保存会(沼田市) 赤城古典芸能保存会(渋川市) 当日会場では、車いす来場者への介助を行います。
伝統行事の情報発信事業	日本正月協会	2020年8月15日～2021年8月14日	日本正月協会Webサイト (https://www.oshogatsu.org)	日本国内の伝統行事の魅力を、当協会Webサイトにて、日本語および外国語により発信する事業を引き続きおこなう。
ぐんまの伝統文化普及啓発事業「ぐんま民謡公演」	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2020年12月13日	玉村町文化センター	県内各地に根付く民謡5団体による公演を行うことで、民謡の魅力を発信するとともに、地域の伝統芸能についての関心を高めます。また、民謡団体が交流することで、今後の継承活動に向けた連携を図ります。 当日会場では、車いす来場者への介助を行います。

ぐんま子ども郷土芸能祭り	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2020年12月5日	ながめ余興場	県内各地に伝わる芸能は、それぞれの歴史や風土の異なる地域に暮らす人々の生活の中から生まれ伝承されてきた大切な宝です。先人から受け継いだ貴重な芸能公演を子どもが行うことにより、地域の伝統文化への関心を高めます。県内各地に伝わる芸能を継承する4団体(獅子舞・神楽・囃子・民謡)による公演を行います。当日会場では、車いす来場者への介助を行います。
古典の日制定記念「人形芝居公演」	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2020年10月25日	甘楽町文化会館	平成24年9月に古典の日(11月1日)が制定されたのを記念して、地域の伝統芸能を通して古典に親しみ、伝統文化への意識高揚を図るため県内で活躍している人形芝居各座の公演を開催します。今回は尻高人形保存会錦松会(一人遣い)、下牧人形芝居保存会吉田座(三人遣い)が出演します。当日会場では、車いす来場者への介助を行います。
第101回企画展「綿貫観音山古墳のすべて」	群馬県立歴史博物館	2020年7月18日～9月6日	群馬県立歴史博物館企画展示室	国宝指定が決定した群馬県綿貫観音山古墳出土品は、古代東国を象徴する文物であり、日本国内はもとより韓国や中国の同時代史の中でも重要な位置を占めます。この歴史的価値を、最新の研究成果を加えながら、改めて情報発信します。今回の展示会では、特に金工品を中心として、福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品(国宝)や奈良県藤ノ木古墳出土品(国宝)など、6世紀の日本の東アジア交流を象徴する貴重な品々との比較から、当時の東アジアの中における上毛野国の歴史的な位置づけを行い、その成果を披露します。
一般財団法人群馬オペラアカデミー「農楽塾」プレゼンツチャリティコンサート「歌手は最高！」	一般財団法人群馬オペラアカデミー農楽塾	2020年10月17日	邑楽町中央公民館「邑の森ホール」	群馬県の邑楽町中央公民館との初共催となる本年度の活動は、新たに邑楽町にてボランティア・メンバーを募集し、新型コロナウイルス感染拡大防止を考えたトライアル公演として縮小人数で塾の生徒・講師・スタッフと共に手作りの舞台を制作します。

<p>第8回GUNMA マンガ・アニメ フェスタ</p>	<p>公益財団法人 群馬県教育文 化事業団</p>	<p>2021年2月13日～ 2021年2月14日</p>	<p>大泉町文化 むら</p>	<p>県民の個性豊かな文化の育成と創造を目指す文化芸術の祭典である「県民芸術祭」の一環として、新しい芸術として注目され、多彩な日本文化の一つである「メディア芸術」の祭典を開催することにより、創作の場や鑑賞機会を提供するとともに優れた作品を顕彰し、群馬県におけるメディア芸術の水準の向上と新しい才能の発掘を目指します。 マンガ・4コマまんが・アニメーション・イラストの4つの部門の作品を公募・展示し、マンガやアニメーションに関連するイベントを同時開催します。会場はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
<p>子供フェス ティバル“お 箏の教室”・ 邦楽春の祭 典</p>	<p>NPO 三曲合 奏研究グ ループ</p>	<p>2020年6月1日～ 2021年4月30日</p>	<p>高崎市文化 会館・中央 公民館</p>	<p>箏・三絃・尺八の指導者が、流派を超えて研鑽・向上・発展を目的に結成、1985年に発足。公的行事、公民館活動、小中学校での鑑賞と体験指導、諸々イベント、高崎市共催こだま音楽会等積極的に地域社会に貢献しております。</p>
<p>NIPPONを楽し む2020 大蔵流山本会 狂言公演 ～ 狂言とスポーツ ～</p>	<p>公益財団法 人桐生市ス ポーツ文化 事業団</p>	<p>2020年11月28日</p>	<p>桐生市市民 文化会館 小ホール</p>	<p>伝統芸能好きな方必見！！スポーツ好きな方必見！！ 狂言大蔵流山本会と葛西聖司氏の夢の共演で、『狂言とスポーツ』の関係に迫る！！</p> <p>【おはなし×狂言公演×対談】 時代が進むにつれ、日本人でありながら、日本の伝統芸能の素晴らしさを知らない世代が増加している現代。 東京オリンピック2020を迎えるこの機に「狂言とスポーツ」をテーマとした内容で“誰にでもわかりやすい狂言”をコンセプトとしてお届けします。特別企画である山本東次郎氏(人間国宝)と葛西聖司氏の対談からは、家族みんなで日本の伝統芸能に触れてみませんか。</p>

<p>ワンコインコンサート 2020-2021</p>	<p>公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団</p>	<p>2020年6月27日～ 2021年2月27日</p>	<p>桐生市市民文化会館 小ホール</p>	<p>ランチタイムに約1時間500円で楽しめるワンコインコンサート 多種多様なジャンルを取りそろえ、「本物をリーズナブルに」・「誰もが気軽に楽しめるコンサート」をテーマにお届けします！！ 注目のラインナップは、『beyond2020プログラム』初のアーティスト認証を得ている津軽三味線デュオの「輝&輝」のコンサートや狂言大蔵流山本会の注目の若手狂言師 山本則重・則秀等が登場するワンコイン狂言など全6公演。東京オリンピック2020を前に家族みんなで「日本の文化」に触れてみませんか。 土曜日開催の公演は0歳(3歳以上有料)から入場可能となっており、ファミリーでお楽しみいただけます。 ※数に限りがございますが、車いす席のご用意もございます。</p>
<p>第30回ぐんまマラソン</p>	<p>群馬県／前橋市／高崎市／上毛新聞社／(一財)群馬陸上競技協会</p>	<p>2020年11月3日</p>	<p>正田醤油スタジアム群馬(メイン会場)</p>	<p>参加者約15,000人の群馬県内最大のランニングイベントです。「走る・支える・応援する」誰もが楽しめる大会、「自然・食・歴史文化」といった群馬の魅力を満喫できる大会の2点をコンセプトに大会を開催します。種目はフルマラソン、10kmマラソン、リバーサイドジョギング(約4.2km)の3種類で、こどもから大人まで幅広い年齢の方が参加します。また、開会式・スタート位置には手話通訳者を配置し、リバーサイドジョギングには車椅子のランナーも参加しており、障害のある方も楽しめる大会です。 ランナー全員に群馬県の郷土料理である「おつきりこみ」を提供し、沿道では郷土の特色ある団体が応援に参加しており、ランナーに日本文化の魅力も発信しています。</p>
<p>日本遺産・世界遺産スタンプラリー</p>	<p>群馬県</p>	<p>2019年12月2日～ 2020年6月30日</p>	<p>日本遺産のある構成市町村(桐生市、甘楽町、中之条町、片品村)</p>	<p>・世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」及び群馬県立世界遺産センターや日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」とその周辺おすすめスポットに多くの方に訪れていただき、その地域の魅力や価値を知っていただくため、群馬県公式アプリ「きぬめぐり」を活用したスタンプラリーを開催</p>

<p>前橋文学館 企画展「通り 過ぎる電車の ように 安藤紘 平展ー私が 出会った表現 者たちⅢ」</p>	<p>前橋市</p>	<p>2020年5月30日～8 月20日</p>	<p>前橋文学館</p>	<p>本展は、映像作家、エッセイスト、演出家、俳優など多彩な経歴を持つ萩原朔美館長が出会ってきた“表現者たち”を作品とともに紹介するシリーズ企画。今回は、寺山修司主宰「演劇実験室天井棧敷」を介して出会い、TBS社員として勤務し、ハイビジョンの制作者として世界的に活躍する傍ら、繊細で独創的な映像作品で高い評価を受け、多くの映像作家や俳優等と交流を持つ安藤紘平氏を取り上げる。 「春は文学館で きゅん。寺山修司のラブレター」(平成30年4月14日～7月10日)、「榎本了壺 線セッション」展(令和元年6月29日から令和元年9月29日)に続く第3弾。</p>
<p>伊香保温泉 × SENJU LAB 夢ノス タルジア</p>	<p>群馬県、群馬 県戦略的文 化芸術創造 事業実行委 員会</p>	<p>2020年3月27日～3 月31日</p>	<p>伊香保石段 街</p>	<p>伊香保温泉のシンボル・石段街で、伊香保・榛名を愛した竹久夢二や、夢二が生きた大正ロマンの世界をテーマに、作曲家・千住明氏が主宰する東京藝術大学のアートプロジェクト「SENJU LAB」のアーティストたちと世界的なエキシビジョンディレクター・ムーチョ村松氏のクリエイティブでプロジェクト・マッピングイベントを開催。 2020東京オリンピック&パラリンピック開催に向け、伊香保の「伝統&文化」と最先端の「アート&テクノロジー」を融合したイノベーションプログラムの開催を通じて、歴史ある日本の温泉文化のシンボル～伊香保の魅力をアピールするとともに、「日本の美＝群馬の美」を世界に発信します。</p>
<p>群天星3周年 公演【首里城 再興祈念】</p>	<p>創作琉球太 鼓 群天星</p>	<p>2021年2月7日</p>	<p>群馬音楽セ ンター 大 ホール</p>	<p>首里城火災によって失われた文化財をもう一度復興するため群馬の皆さまに沖縄の文化や伝統に触れてもらうため、そして将来を担う若者に沖縄に今以上に関心をもってもらうために、結成3年を迎えた群天星と沖縄で活躍する創作芸団レキオスが再興のエイサーでお届けします。なお、群天星は外国籍のメンバーも在籍しており、エイサーを通して言語の壁を取り払い多くの外国人の皆さまにも楽しんでいただける内容となっております。</p>

<p>前橋文学館特別企画展「夢よ、氷の火ともなれ—佐藤惣之助生誕130年記念展」</p>	<p>前橋市</p>	<p>2020年4月25日～6月28日</p>	<p>前橋文学館</p>	<p>佐藤惣之助は、萩原朔太郎と同時期に活躍した詩人であり、朔太郎の義弟(末妹・愛子の夫)でもある。惣之助は、とりわけ「赤城の子守唄」など流行歌の作詞家として多くの人々に知られているが、朔太郎や室生犀星らと親交があり、ともに「日本詩人」の編集も行った。本企画展では、生誕130年を記念して、詩人としての惣之助に特に焦点を当てつつ、随筆、戯曲、句作、作詞と、多様な側面から「佐藤惣之助」という人物に迫る。会期中には、作詞家を招いての講演のほか、惣之助脚本によるリーディングシアターも実施予定。日本詩壇及び歌謡界における惣之助の作品世界の理解を深める機会を設ける。会場の前橋文学館はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
<p>第77回美登利会公演</p>	<p>直派若柳流美登利会</p>	<p>2020年4月12日</p>	<p>昌賢学園まえばしホール 大ホール</p>	<p>昭和初期より続けてきている伝統の日本舞踊の舞台公演です。歌舞伎のように役に合ったかつら、衣装をつけて踊る本格的な舞台です。一部は邦楽器の生演奏です。日本人が古来より大切にしてきた美意識が一目瞭然です。踊りに言葉はいらないので、誰でも楽しめると思います。演目の解説はプログラムに記載し、アナウンスも行います。会場は車いす専用のスペースもあります。また、日本人以上に外国の方が着物や古典芸能に関心を持っています。英語対応にも検討していきます。</p>
<p>2020-2021シーズン群馬交響楽団定期演奏会</p>	<p>公益財団法人群馬交響楽団</p>	<p>2020年4月18日～2021年3月21日</p>	<p>高崎芸術劇場他4会場(桐生市市民文化会館、太田市民会館、東京オペラシティコンサートホール、すみだトリフォニーホール)</p>	<p>オーケストラの資質の向上と音楽芸術の追求を図るため、国内外から一流のゲストを招聘するとともに、芸術性や人気の高い作品から知られざる名曲まで幅広いプログラムを取り上げ、年間10回の演奏会を本拠地ホールの高崎芸術劇場(群馬県高崎市)で行います。また、年2回ずつ同内容の演奏会を群馬県の東毛地区及び東京都内でも開催しております。充実した企画と卓越した演奏技術による質の高い演奏会により、グローバルスタンダードなオーケストラを目指しています。</p>

<p>前橋ミュージカル同好会 BaMbina 第10回公演「ファントム～オペラ座の怪人～」</p>	<p>前橋ミュージカル同好会 BaMbina</p>	<p>2020年7月25日～7月26日</p>	<p>前橋テルサホール</p>	<p>前橋近郊に在住・在学の高校生女子だけのミュージカル同好会「BaMbina」による「ファントム～オペラ座の怪人～」の公演を行う。本企画の目的は、ミュージカルという文化を通して、高校生同士の親睦や技術の向上、地域文化および地域文化教育への貢献を目指そうとするものである。公演時間は2幕3時間で、高校生らしさが出る脚本に編集しフレッシュなミュージカルを予定している。公演の運営だけでなく、その活動の発信なども高校生が主体的に取り組んでいる。会場は車椅子の方でも観劇できるよう配慮されている。また、地域連携の一環から、本イベントの事務局は共愛学園前橋国際大学のCOC推進本部事務局に置いている。 会場の前橋テルサホールはバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
<p>第764回デザインギャラリー 1953企画展「いせさきメイセンーメイセンは二度死ぬー」</p>	<p>「いせさき銘仙の日」記念イベント実行委員会</p>	<p>2020年2月26日～3月23日</p>	<p>松屋銀座7階デザインギャラリー 1953</p>	<p>伊勢崎銘仙の魅力を広くPRするため東京都中央区銀座にて展示会を行います。会場内では英訳入りのパンフレットを配布します。銘仙の代表的産地である群馬県伊勢崎市で生産された「併用緋」は経糸と緯糸の双方に緋糸を用いて複雑な図柄を織り上げる、世界でも類を見ない技術です。本展では一度は廃れたこの「併用緋」が、2016年に奇跡的に復元されるまでの経緯を、豊富な銘仙コレクションとともにご紹介します。近年、銘仙は海外での評価が高まっており、このたび復元された「併用緋」もイギリスのV&A博物館への収蔵が決まっています。今、世界が注目する伊勢崎銘仙の驚くべき技術と斬新なデザインの世界をぜひお楽しみください。</p>
<p>石井竜也 プレミアムシンフォニックナイト ANGEL WISH</p>	<p>群馬県、群馬県戦略的文化芸術創造事業実行委員会</p>	<p>2020年3月12日</p>	<p>高崎芸術劇場 大劇場</p>	<p>2020年の東京オリンピック・パラリンピックの幕開けを飾る、日本博の文化プログラムとして「石井竜也 プレミアムシンフォニックナイト」を、高崎芸術劇場で開催します。 来年は東日本大震災から10年を迎え、2020年東京大会は復興オリンピック・パラリンピックと位置づけられています。 本公演では、石井竜也氏の愛と平和を願う「GROUND ANGEL」のメッセージのもと、戦後の復興の中で誕生した群馬交響楽団とともに、音楽とアートを通して、世界の人々の心に「願い(=WISH)～明日のこころの輝き」を届けます。 ※石井竜也氏の歌唱はありません。 会場の高崎芸術劇場はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>

<p>観光地におけるバリアフリー情報発信イベント</p>	<p>群馬県</p>	<p>2020年3月3日</p>	<p>伊香保公民館</p>	<p>群馬県では、障害をお持ちの方や高齢の方、そのご家族を含め誰もが楽しむことのできる観光地づくりを目指しています。2月27日開催の観光地における心のバリアフリーセミナーの実践編として、伊香保温泉周辺を車いすに乗って散策し、バリアフリー情報を発信します。</p>
<p>観光地における心のバリアフリーセミナー</p>	<p>群馬県</p>	<p>2020年2月27日</p>	<p>渋川市民会館(小ホール)</p>	<p>群馬県では、障害をお持ちの方や高齢の方、そのご家族を含め誰もが楽しむことのできる観光地づくりを目指しています。障害をお持ちの方がファシリテーターとなって進めるワークショップ型の研修です。ファシリテーターとの対話、視覚教材やグループワークを活用して、社会の中にある様々な障害を見抜く力を養うとともに、「障害は個人の問題」という意識から「障害は周りの環境を皆で変えていくことにより解決していく問題」という意識への変革を図ることにより、多様な観光客を迎えることのできる観光地形成に向けた具体的な取組に繋がります。 会場の渋川市民会館はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
<p>姉妹都市児童作品展2020</p>	<p>渋川市</p>	<p>2020年2月22日～3月1日</p>	<p>渋川市民会館(小ホール)</p>	<p>姉妹都市児童作品展は、渋川市と姉妹(友好)都市提携をしているイタリア共和国・フォルミーニョ市、オーストラリア連邦・ローガン市、アメリカ合衆国・ハワイ郡と行う各国の子供たちの作品展です。 渋川市の児童絵画のテーマは「私たちのまちしづかわ」であり、市内の小学校5年生が渋川の魅力を個性あふれる作品として紹介してくれています。 また、各姉妹都市の児童作品として、その地域の文化や日常生活の一部を感じられる力作が会場に集まります。 会場はバリアフリーとなっており、入場無料です。生活や文化の違う4都市の子供たちの作品を見る貴重な機会ですので、お誘い合わせの上、ぜひお出かけください。 なお、2月25日から27日は休館日等により休止となりますので、ご注意ください。</p>
<p>第37回日本のまんなか渋川へそ祭り</p>	<p>渋川へそ祭り実行委員会</p>	<p>2020年6月5日～6月6日</p>	<p>渋川市新町五差路周辺</p>	<p>「日本のまんなか渋川へそ祭り」は、渋川市が日本列島を円で囲った中心にあることから、「日本のへそ」を起爆剤にまちの活性化を図るため、昭和59年から開催しているお祭りです。 おへそに絵を描いて踊りながらパレードするユニークなお祭りで、メインイベントの「へそ踊りパレード」は、どなたでも飛び入り参加ができます。近年は日本に在住する外国人の方も多く参加されており、外国語(英語)の通訳も配置します。また、会場一帯はほぼ段差がなく、付近には「思いやり駐車場」も設置されています。</p>

<p>第4回 産泰神社太々神楽・二之宮式三番叟・薪能まつり</p>	<p>二之宮式三番叟・薪能まつり実行委員会、前橋市</p>	<p>2020年5月16日</p>	<p>二宮赤城神社、産泰神社</p>	<p>数多くの歴史遺産が残り、赤城南麓に位置する城南地区で、地元住民により古くから継承される農村行事である「太々神楽」と「式三番」。これらの貴重な伝統芸能を保存・継承するとともに、城南地区を全国に発信するため、前橋東部を代表する二大名古社である「産泰神社」の神楽殿及び「二宮赤城神社」の舞殿を舞台に、地域の伝統芸能と能楽を組み合わせた全国でも珍しい芸の競演を行う。今回で4回目となる本イベントでは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開閉会式演出における総合統括を務める野村萬齋氏を迎え、県内だけではなく県外のお客様に視点を向けた事業として実施する。また、令和2年4月から3か月にわたり実施される「群馬デスティネーションキャンペーン」に伴い、本市の伝統芸能と歴史の魅力溢れた城南地区を市内外にPRすることにより、群馬の魅力発信の一助を担うことを目的とする。本イベントは、車いすでの観覧も可能です。</p>
<p>第34回高崎映画祭</p>	<p>高崎映画祭委員会</p>	<p>2020年3月20日～4月5日</p>	<p>群馬音楽センター、高崎芸術劇場スタジオシアター、高崎市文化会館、高崎シティギャラリー、シネマテークたかさき</p>	<p>高崎映画祭は、高崎市民はもとより日本国内の多くの映画ファンの支持をいただき、延べ1万人を超える観客を集めるまでの映画祭として定着してまいりました。第34回高崎映画祭も、市民グループ主催としての特色ある映画祭を目指します。上映プログラムでは「邦画・洋画・ドキュメンタリー」「監督たちの現在」に加え、地元高崎にてロケを行った「高崎FC協力作品」の上映を予定しております。また、外国人のお客様にも来祭いただけるよう、ホームページの英語表記を行い、バリアフリーの会場を使用することで障がい者の方にも楽しんでいただける取組を行っております。第34回は2020年3月20日より4月5日までの17日間の開催を予定しております。</p>
<p>前橋文学館特別企画展「わたしたちはまだ林檎の中で眠ったことがないー第27回萩原朔太郎賞受賞者 和合亮一」</p>	<p>前橋市</p>	<p>2020年2月8日～4月12日</p>	<p>前橋文学館</p>	<p>第27回萩原朔太郎賞受賞者で詩人の和合亮一氏の試作品や活動などを紹介する特別企画展。詩人であり高校教師でもある和合氏は、地元福島を拠点に活動、1999年第一詩集で中原中也賞を、2006年第四詩集で晩翠賞を受賞するなど気鋭の詩人として活躍を続ける中、2011年東日本大震災に遭い、ツイッター上に福島の実状を詩に託して発表し続け、多くの人に支持され反響を呼びました。詩作にとどまらず、ポエムリーディングやラジオパーソナリティーとしての活動や、演劇・オペラ・校歌・創作神楽を手掛けるなど、多彩な表現で福島から発信し続けている詩人和合亮一氏を紹介します。</p> <p>会場の前橋文学館はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>

伊香保温泉 石段ひなまつり	一般社団法人 渋川伊香保温泉観光協会	2020年2月29日～3月1日	伊香保温泉「石段街」	<p>「石段ひなまつり」は、平成3年3月3日の3並びの日に伊香保温泉の象徴である石段街をひな壇に見立て、地元伊香保保育所の年長園児が実際の雛衣装を身に纏い登場したのが始まりです。平成12年から一般公募の部も実施するようになりました。</p> <p>伝統ある伊香保の石段街の風情とともに早春の風物詩であるひなまつりをお楽しみください。</p> <p>なお、会場は石の階段となっているため足元に十分ご注意ください。また、会場付近には多目的トイレ等の公共施設があります。</p>
鉄路の記憶展 ～路面電車が集結した街、渋川～	渋川市教育委員会	2020年1月14日～1月31日	渋川市役所本庁舎1階市民ホール(1/14～1/24)、渋川市役所第二庁舎2階あじさいサロン(1/27～1/31)	<p>渋川市の近代交通網の礎となった馬車鉄道や路面電車について、明治から昭和にかけ前橋、高崎、伊香保、中之条及び沼田へと向かうターミナル駅「渋川新町」として栄えた場所に、当時の写真、路線図、説明文を刻印した石碑を設置することになりました(令和2年1月15日除幕式・渋川市新町バス停付近)。</p> <p>「鉄路の記憶展 ～路面電車が終結した街、渋川～」は、最盛期には5路線が走り、観光や人々の生活の足として活躍していた路面電車などの写真や関連資料を展示し、郷土の発展の歴史を再発見、再認識してもらうとともに、多くの人々の記憶に留め続けてもらうものです。</p> <p>会場の渋川市本庁舎及び第二庁舎はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
「オペラ 万葉集」	群馬県、群馬県戦略的文化芸術創造事業実行委員会	2020年3月27日	高崎芸術劇場 大劇場	<p>新元号「令和」の命名のもととなった日本最古の歌集「万葉集」。</p> <p>万葉集の登場人物を題材に、俳人・黛まどかによって綴られた物語と、千住明の生み出す音楽が調和し、万葉人の心に込められた普遍的な想いを、美しい日本の歌と旋律とハーモニーで描いたジャパン・オペラの傑作。</p> <p>本公演では、田村吾郎が万葉の四季を新たな映像作品で表現します。</p> <p>合唱団員を公募して、一大スケールの公演を開催します。</p> <p>(出演者) 指揮:千住明、ソプラノ:小林沙羅、メゾソプラノ:谷口睦美、テノール:鈴木 准、バリトン:与那城 敬 オーケストラ:群馬交響楽団、合唱:公募した合唱団員</p> <p>会場の高崎芸術劇場はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>

<p>「SENJU CUBE～千住博、明、真理子 3人の兄弟による共演」</p>	<p>群馬県、群馬県戦略的文化芸術創造事業実行委員会</p>	<p>2020年2月6日</p>	<p>高崎芸術劇場 大劇場</p>	<p>日本画家・千住博、作曲家・千住明、バイオリニスト・千住真理子。世界的に活躍する三兄弟のコラボレーションによるスペシャル公演を実施します。三兄弟のコラボレーションによるバイオリンとストリングスのための「四季」をメインに、美しい四季を描いた千住博の絵画を田村吾郎のアートワークで迫力ある映像とともに楽しみいただきます。 (出演者) 指揮:千住明、バイオリン:千住真理子、ピアノ:若林顕、オーケストラ:群馬交響楽団 会場の高崎芸術劇場はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
<p>テーマ展示2 「上州湯めぐりものがたり」</p>	<p>群馬県立文書館</p>	<p>2020年1月8日～3月22日</p>	<p>群馬県立文書館</p>	<p>現在全国屈指の温泉県である群馬県は、中世から中央の記録に草津や伊香保の名前が登場するなど、その歴史も古い。そこで当館に収蔵されている温泉関係の古文書・絵図などをおして、江戸時代を中心に多角的に群馬の温泉の歴史を眺めていく。具体的には、草津・伊香保・四方・沢渡など主要温泉の賑わいや、温泉と文化の関わり、温泉に向かう街道・交通、温泉と関係する産業、温泉地と関わる事件などを紹介する。これにより群馬の温泉文化について歴史的な魅力を発信する試みである。</p>
<p>第3回 前橋藩主 松平大和守家顕彰祭</p>	<p>松平大和守家顕彰祭実行委員会</p>	<p>2020年4月26日</p>	<p>前橋公園、群馬会館、臨江閣園</p>	<p>前橋を治めた四藩主「前橋四公」の一つである、江戸時代末期の前橋藩主・松平大和守家の功績を称え、その歴史的価値をこれからのまちづくりに活用するため開催する。 今回は、「御手杵の槍」に加え、松平家のもう一つの家宝であった「式部正宗」のお披露目を軸としながら、他に複数の松平家にゆかりある催しを同時開催することで、県内外からの誘客を図り、本市ならびに松平家の魅力を広くPRする。また、令和2年4～6月の「群馬 destinations キャンペーン」と開催時期をあわせ、同キャンペーンのテーマである『心にググっとぐんま わくわく体験 新発見』に沿ったイベント内容とすることで、群馬県の魅力を発信する一役を担うことを目的とする。</p>

ぐんま三大梅林スタンプラリー	ぐんま三大梅林振興会議(群馬県)	2020年3月1日～5月6日	秋間梅林、榛名梅林、箕郷梅林、磯部温泉旅館組合事務所、恵みの湯、碓氷峠鉄道文化むら、榛名湖温泉ゆうすげ元湯、榛名神社、峠の湯、みさと芝桜公園	<ul style="list-style-type: none"> ・秋間、榛名、箕郷の三大梅林と周辺観光施設においてスタンプラリーを実施。 ・ラリーポイント各所に多目的トイレを設置。 ・恵みの湯(日帰り温泉施設)では福祉浴室も完備しており、障害者の参加も促進している
前橋文学館企画展「怖いを愛する-清水崇の世界展」	前橋市	2020年1月18日～3月22日	前橋文学館	<p>本市出身で、ホラーをメインジャンルに幅広い作品を世に送り出し、世界的に活躍する映画監督・清水崇。幼少から高校卒業までの前橋での日々や、映像制作のきっかけとなった群馬県人口200万人突破記念映画「眠る男」(1996年・小栗康平監督)、日米で大ヒットを記録した映画「呪怨」シリーズ、最新作「犬鳴村」などの展示から、清水監督の作品世界を存分に味わえる本展。1月下旬～2月上旬には、前橋シネマハウスで旧作上映会も開催。1月下旬には監督を迎えシアタートークも行います。</p> <p>会場の前橋文学館はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
ぐんまの祭り・囃子シンポジウム	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2019年12月14日	群馬県公社総合ビル	<p>県内祭り・囃子の現状と課題について話し合うシンポジウムと講演会、祭り・囃子公演を開催し、今後の保存・継承の筋道を探り、団体が相互に情報を共有することで継承に向けた連携を図ります。</p> <p>当日は車いすで来場の方への介助を行います。</p>
第13回テーマ展示「くらしのうつりかわり2」	群馬県立歴史博物館	2019年12月14日～2020年2月24日	群馬県立歴史博物館	<p>当館所蔵の主に昭和の時代に生活の中で使われた、炊事や洗濯などの日常の道具をはじめ、カラーテレビや足踏みミシンなどを展示する。また、昭和50年代の茶の間を再現したり、実際に触って体験できる道具を用意したりすることで、生活の中でどのように道具が使われていたかを子供たちにもわかるように紹介する。</p> <p>当館は改修工事の後の平成28年にリニューアルオープンし、バリアフリー設備を充実させた。出入り口のスロープや視角障害者誘導用ブロックの設置、講座会場となる視聴覚室における車椅子座席の増設を行っている。そのため、障害者にとっても訪問しやすい施設となっている。</p>

<p>伝統歌舞伎の 祭典</p>	<p>公益財団法人 群馬県教育文化事業 団</p>	<p>2020年1月11日</p>	<p>ベイシア文 化ホール</p>	<p>県内の歌舞伎団体に発表の機会を提供し、地域に残る伝統文化を県民に広く紹介します。</p> <p>出演団体・演目： 赤城古典芸能保存会(渋川市) 「奥州安達ヶ原 三段目 袖萩祭文の場」</p> <p>みなかみ町子ども歌舞伎(みなかみ町) 「三人吉三巴白波 大川端庚申塚の場」</p> <p>半田歌舞伎坂東座(渋川市) 「陸奥の白萩老後政岡 綱村御殿別れの場」</p> <p>当日は車いすで来場の方への介助を行います。</p>
<p>企画展「関口 三作 遺作展 木に導かれ、 木仮子(こけし) に託した思い」</p>	<p>渋川市美術 館・桑原巨守 彫刻美術館</p>	<p>2019年10月12日～ 11月10日</p>	<p>渋川市美術 館・桑原巨 守彫刻美術 館</p>	<p>関口三作は、1925年敷島村(現在の渋川市赤城町)に生まれました。「自由な発想で一品物のこけしを創りたい」という思いを形にし、渋川の街で1958年から独自にこけしの制作に専念し、伝統こけし、近代こけしに続く新たな展開としての「創作こけし」を生み出しました。1968年、全群馬近代こけしコンクールにおいて知事賞を受賞。翌1969年には、第11回全日本こけしコンクールにおいて《花かざり》で内閣総理大臣賞を受賞。その後も数々の賞を受賞しながら、創作こけしを探求し続けました。1978年には「現代の名工」(卓越した技能保持者)に選ばれ表彰されます。1984年に「黄綬褒章」も授賞しました。</p> <p>今後の活躍を惜しまれながら、2018年4月に永い眠りにつきました。今回は亡くなる直前まで手がけていた遺作を囲み、これまでの作品をご覧頂きます。</p> <p>会場の渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
<p>2019年度特 別収蔵品展 「日本画の美」</p>	<p>群馬県立歴 史博物館</p>	<p>2020年1月4日～2 月24日</p>	<p>群馬県立歴 史博物館</p>	<p>当館所蔵の群馬県にゆかりのある日本画を中心とした展示を行う。日本画の名称が確立するのは明治以降であるが、本展ではその前段階である近世から近代はじめにかけて幅広く展示する。日本画は表具された形式によって屏風・巻子・掛軸・画帖などに分類することができ、そうした分類ごとに展示を構成する。また、「幕末の写真師」として知られる島霞谷は多くの絵画も描いており、霞谷の日本画を通じて近世から近代への移り変わりを振り返る。</p> <p>当館は改修工事の後の平成28年にリニューアルオープンし、バリアフリー設備を充実させた。出入り口のスロープや視覚障害者誘導用ブロックの設置、講座会場となる視聴覚室における車椅子座席の増設を行っている。そのため、障害者にとっても訪問しやすい施設となっている。</p>

<p>企画展「流魄の俳人—松野自得展」</p>	<p>群馬県立土屋文明記念文学館</p>	<p>2020年1月11日～3月15日</p>	<p>群馬県立土屋文明記念文学館</p>	<p>俳人・松野自得は明治23(1890)年に群馬県の館林町(現・館林市)に生まれ、荒砥村(現・前橋市)の最善寺で育ちました。高浜虚子に師事し、昭和3(1923)年に創刊された俳句雑誌『さいかち』の選者(後に主宰)として活躍。本展では、画家で僧侶でもあった自得の、俳味のある洒脱な墨絵や淡彩の小品画などの作品を中心に、その生涯を紹介いたします。</p>
<p>第8回みんなのフェスタ</p>	<p>前橋市自立支援協議会・前橋市</p>	<p>2019年12月7日</p>	<p>前橋市総合福祉会館</p>	<p>前橋市自立支援協議会・前橋市の主催により、障害福祉の啓発事業の一環として、みんなのフェスタを開催する。 みんなのフェスタは、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共生できる社会の実現を目指し、日頃の活動の成果を発表する活気あるステージ発表会とアート展、手話等の体験コーナーを行う。ステージ発表は、前橋市内で活動している団体により、和太鼓、合唱、楽器演奏、フラダンス、剣舞などを発表する。アート展では、障害児者が制作した作品を中心に絵画、貼り絵、書道、立体作品などを展示する。体験コーナーでは、手話、点字、要約筆記、盲導犬、車いす、あんま・マッサージを体験できる。 会場はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
<p>令和元年度「ふるさと群馬のたからもの」文化財の絵コンクール 入賞作品の展示</p>	<p>群馬県教育委員会</p>	<p>2019年11月2日～11月17日</p>	<p>群馬県庁31階 観光物産展示室</p>	<p>群馬県教育委員会では、児童生徒が自分たちの周囲にある文化財に気付き、身近なものとして興味関心を持ってもらうために「ふるさと群馬のたからもの」文化財の絵コンクールを実施し、群馬県内にある指定文化財等を題材にした絵画を募集した。その入賞作品(最優秀賞 小学生の部1点・中学生の部1点、優秀賞 小・中学生の部8点、奨励賞 小・中学生の部16点)を展示する。 会場はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>

<p>「里沼(SATO- NUMA)～能と オペラの響宴 ～」</p>	<p>群馬県、群馬 県戦略的文 化芸術創造 事業実行委 員会</p>	<p>2019年11月15日～ 11月16日</p>	<p>館林市文化 会館カルピ スホール(大 ホール)</p>	<p>2019年5月に認定された、日本遺産「里沼 (SATO-NUMA)－『祈り』『実り』『守り』の沼が磨 き上げた館林の沼辺文化ー」の館林市を会場と し、プロジェクションマッピングの上映や、能舞台 と群馬交響楽団(アンサンブル)の演奏によるオ ペラを上演します。 会場の館林市文化会館カルピスホールはバリア フリーになっており、車いすの方の来場が可能で す。</p>
<p>東国文化祭 第10回 上野 国分寺まつり</p>	<p>上野国分寺 まつり実行委 員会、群馬歴 史文化遺産 発掘・活用・ 発信実行委 員会、群馬県 戦略的文 化芸術創造事 業実行委員 会</p>	<p>2019年10月20日</p>	<p>上野国分寺 跡</p>	<p>群馬県は、古墳時代から平安時代にかけて、古 代東国文化の中心地として栄え、当時の東日本 をリードする先進的な地域でした。その古代東国 文化を代表する国史跡「上野国分寺跡」におい て、奈良時代の煌びやかな宮廷衣装をまとった 行列や、雅楽の演奏会など、古代の天平文化に ふれる「上野国分寺まつり」を開催しています。 会場は、障害者用トイレや障害者用スロープ等 を設置しており、どなた様にも御参加いただけ ます。</p>
<p>前橋学ブック レット刊行20 巻記念 歴史 まちづくりシ ンポジウム Vol. 2「歴史都市 まえばしー 歴史まちづく り法から学 ぶ」</p>	<p>前橋市</p>	<p>2019年11月18日</p>	<p>昌賢学園ま えばしホー ル 小ホー ル</p>	<p>本市では、平成25年度から2期4年にわたって 歴史文化遺産活用委員会を設置し、委員会から の提言を受けて、本市固有の歴史文化遺産を活 用し、市民の力・地域の力による魅力あふれる地 域づくりに取り組んでいます。このような中、歴史 都市まえばしをつくる一環で、本市の誇れる先 人、素晴らしい自然、埋もれた歴史を市民自らが 調査発掘した成果を前橋学ブックレットとして刊 行しその魅力発信に努めています。このたび 節目となる20巻目の達成を祝し市民の皆様へ の記念報告を行います。 また、昨年開催した歴史まちづくりシンポジウム で、「歴史まちづくり法」を活用した新たなまちづく りへの示唆を受けたことで、歴史都市まえばしに 向けたより具体的なまちづくりを学ぶ機会とする ため、本シンポジウムを開催します。 会場の昌賢学園まえばしホールはバリアフリー になっており、車いすの方の来場が可能です。</p>

<p>(1)伝統行事のインターネット動画配信事業 (2)伝統行事の情報発信事業</p>	<p>日本正月協会</p>	<p>2019年8月15日～ 2020年8月14日</p>	<p>(1)YouTube (日本正月協会管理チャンネル) (2)日本正月協会Webサイト、または登録者のメールアドレス</p>	<p>(1)伝統行事を動画に撮影し、当協会協会員による外国語の解説を加え、インターネットで配信する事業。特に群馬県内開催の伝統行事については、1赤城まつり、2大胡祇園まつり、3草津温泉感謝祭、4高崎まつり、5たちばな古里まつり、6沼田まつり、7新田まつり、8いせさきまつり、9その他神楽や獅子舞等の伝統行事、の撮影を完了している。 (2)日本国内の伝統行事の開催情報や、体験レポート等の記事を、当協会Webサイトもしくはメールマガジンにて、外国語により発信する事業。</p>
<p>第5回 藤岡クラフト 秋のアート&クラフト展</p>	<p>DESIGN ROCK FES 実行委員会</p>	<p>2019年9月28日～9月29日</p>	<p>道の駅 ららん藤岡</p>	<p>群馬県の作家を中心に日本各地で活動する作家やその作品たちを紹介するための展示会。日本ならではの伝統工芸、陶磁器、木工品、革細工、ガラス細工、染織物などの手工芸やアート、イラストなどの新しい芸術作品が集まるイベントです。モノづくりを体験できるコーナーもあり、ここでしか体験できない日本のものづくりの楽しさを味わえます。 会場の道の駅 ららん藤岡はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
<p>企画展示「没後70年 森村西三とその時代」</p>	<p>群馬県立近代美術館</p>	<p>2019年9月21日～11月10日</p>	<p>群馬県立近代美術館</p>	<p>群馬県出身の鑄金工芸家、森村西三(1897-1949)は、東京美術学校で学んだ技術を生かし、植物文や花で飾られた花瓶を制作、鳥や動物をモチーフとしたモダンな作品で帝展や文展に入選を重ねる傍ら、人物の胸像では、穏やかな写真表現により、モデルの在りし日の姿が偲ばれる作品を多く残しました。また、高崎の白衣大観音像の原型を手がけたことでも知られています。戦争中の供出により失われた大型作品や、終戦後まもなく病に倒れて亡くなってから時が経過し、作品の所在がわからなくなった作品が多くあります。本展では、森村の作品をできる限り集め、東京美術学校の師・津田信夫や先輩・高村豊周など同時代に工芸の革新を目指した鑄金家たちの活動とともに紹介することで、美術史の中にその足跡を位置付けることを試みます。 会場の群馬県立近代美術館はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>

前橋文学館企画展「高荷義之展」	前橋市	2019年10月5日～ 2020年1月13日	前橋文学館	<p>1955(昭和30)年に小学館の月刊誌『中学生の友』の「ここに原始人がいた」の挿絵でデビューし、『少年キング』や『少年サンデー』といった数々の少年誌で活躍した、前橋市出身の挿絵画家・高荷義之氏。本展では、戦闘機のプラモデルをはじめ、「超時空要塞マクロス」や「機動戦士ガンダム」といった、現在でも多くの人々に愛されるロボットアニメのプラモデルの箱絵も手がけた高荷氏の作品の数々を期間中二期に分けて展示。第一期では、雑誌等の挿絵に特に注目し、当時はまだ珍しかった“挿絵画家”(イラストレーター)を目指した高荷氏の作品を関連資料を紹介。第二期では、高荷氏が手がけた数々の箱絵(ボックスアート)作品やスケッチなどを関連資料とともに紹介し、日本文化の魅力を広く内外に発信する。会場の前橋文学館はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
前橋文学館特別企画展「萩原恭次郎展」	前橋市	2019年11月2日～ 2020年1月26日	前橋文学館	<p>前橋は多くの近代詩人を輩出しているが、その中であってきわめて多様かつ前衛的な活動を展開した萩原恭次郎。時代の先端を駆け抜け、39歳で早逝した詩人の生誕120年に際して、その革新性を中心に紹介する。会場の前橋文学館はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
総社秋元公歴史まつり	総社秋元公歴史まつり実行委員会、前橋市	2019年11月10日	前橋市総社公民館	<p>江戸時代初期に、現在の前橋市総社域内を治め、天狗岩用水の開削などにより領民の安定した生活を築いた初代総社藩主秋元長朝公の功績を称えるとともに、地域内にある古墳などの歴史文化遺産を活用した地域づくりを進めるため、「総社秋元公歴史まつり」を開催する。11月10日当日は、地域住民が甲冑姿で会場から地区内の元景寺まで往復3Kmの区間の武者行列及び路上での和太鼓演奏や地元のキッズダンスのパフォーマンスを行う。また、会場内に物販・飲食ブースを配し「総社マルシェ」と銘打って盛り立てる。さらに会場内の舞台では消防音楽隊の演奏会や秋元公が開削した天狗伝説の残る天狗岩用水の大型紙芝居を現在製作しており、このお披露目会などのイベントを開催する。会場の前橋市総社公民館はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>

郷土芸能普及活動	前橋市郷土芸能連絡協議会	2019年8月9日～ 2020年3月31日	昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)	前橋市郷土芸能連絡協議会は、市内の伝統ある郷土芸能を発掘・保存・伝承し、広く市民に伝え、市民文化の高揚を図ることを目的として、1980年に組織され、事務局を前橋市教育委員会事務局文化財保護課に置き、現在市内48の郷土芸能保存会等が加入している。2019年11月23日に車椅子観覧席もある昌賢学園まえばしホールにおいて「第47回前橋市郷土芸能大会」を開催するとともに、市内各地域において、前橋の豊かな自然と歴史の中で培われた、素晴らしい郷土芸能が繰り広げられる。郷土芸能は、演者の表情や仕草、また多種多様な面や衣装等、視覚的にも楽しめるものであることから、言語に拠らない日本文化の魅力発信手段として有効であると考えられる。
2019年度NTT東日本群馬支店 児童画コンクール	NTT東日本群馬支店	2019年11月7日～ 11月12日	NTT高崎本館ビル1F YOUHALL	群馬県内に所在している小学校の生徒を対象に電話やインターネット等情報通信の世界に関心を持ってもらうと共に絵画教育の一助とするため。会場はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。
群大で観る人形芝居	公益財団法人群馬県教育文化事業団	2019年11月10日	群馬大学荒牧キャンパス内ミュージズホール	国立大学法人群馬大学と共催で群馬県内で継承されている人形芝居を次世代を担う学生や留学生及び県民に知ってもらうため、人形芝居団体の説明や演目の解説、人形遣いの説明をとおして伝統文化の振興と継承を図る。また、会場にはエレベーターやスロープが設置してあり、障害者や高齢者にも来ていただけるように対処している。 レクチャー 演題「尻高人形について」 講師：川上晃(群馬大学名誉教授) 出演：尻高人形 錦松会 演目：日高川入相花王 渡し場の段、ワーク シヨップ(人形の仕組み、操作、体験) 伽羅先代萩 政岡忠義の段
繊維の魅力PRイベント「Fashionable Gunma」	群馬県	2019年10月11日～ 10月13日	群馬県庁 1階 県民ホール	和装、洋装(テキスタイル、刺繍、ニット等)、シルク製品などの本県繊維産業の魅力を、主に若い世代をターゲットにPRし、県内繊維関連事業者の売上増やファン獲得を通じ産地の活性化を目指すため、群馬県庁を会場にファッションイベントを開催する。会場の県民ホールはバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。

<p>第106回企画展 萩原恭次郎生誕120年記念展 「詩とは？詩人とは？一大正詩壇展望―」</p>	<p>群馬県立土屋文明記念文学館</p>	<p>2019年10月5日～12月15日</p>	<p>群馬県立土屋文明記念文学館</p>	<p>大正時代を通じて詩壇の中心に在った民衆詩派に対抗するように、その末期、萩原恭次郎は『死刑宣告』によって既存の詩を否定、秩序の解体を叫びました。同時期、岩手在住の宮沢賢治は『春と修羅』を出版。本格的に詩作を始めた草野心平は詩誌『銅鑼』を創刊。詩への専心を決意する中原中也。それぞれにとっての“詩”とは？本展では、時代の変動に目を向けながら、大正詩壇の様相及び日本近代詩の変遷に迫ります。</p>
<p>日本の伝統音楽を学ぶ</p>	<p>群馬邦楽教育振興会</p>	<p>2019年6月8日～2020年2月8日</p>	<p>群馬県立図書館</p>	<p>日本の伝統文化特に邦楽の演奏に力を置き、一般の方々にもっと深く理解していただけるように曲の解説等を入れレクチャーコンサートを企画している。和 문화が人々の心に雅びさと安らぎを感じられる事業にしたいと考えている。</p>
<p>第二十二回教育現場に役立つ初心者音楽実技講習会</p>	<p>群馬邦楽教育振興会</p>	<p>2019年8月12日</p>	<p>前橋市総合福祉会館</p>	<p>日本の伝統楽器のお箏、三味線、尺八、篠笛を学ぶことで、心に染みるメロディの親しみやすさに気づく事が大切です。お仲間との合奏においても互いのハーモニーをつくり出せる和楽器に親しんで下さい。</p>
<p>群馬県戦略的文化芸術創造事業「世界遺産劇場」</p>	<p>群馬県</p>	<p>2019年9月7日～9月8日</p>	<p>富岡製糸場東置繭所</p>	<p>近代日本の産業を牽引した世界遺産「富岡製糸場」の東置繭所を会場とし世界遺産劇場を開催します。世界遺産登録5周年となる富岡製糸場を舞台に、トップアーティストによるコンサートと群馬交響楽団の共演を行います。 ○9月7日(土)元ちとせ【18:00～】チケット料金:5,000円 ○9月8日(日)山崎 まさよし【18:00～】チケット料金:6,000円</p>
<p>テーマ展示Ⅰ 「いい湯だなあ～♪ーぐんまの温泉 今・昔ー」</p>	<p>群馬県立文書館</p>	<p>2019年8月3日～11月10日</p>	<p>群馬県立文書館</p>	<p>日本を代表する観光スポットとして有名な草津温泉を始め、群馬の温泉地は様々な病気を治す「湯治」の場所として、古くから人々に親しまれてきました。このたび、当館が収蔵している、草津、伊香保、四万の3温泉の入浴法や効用を説明した明治9年の「入浴者心得」などの温泉関連の公文書や、山々に囲まれた自然豊かな場所に温泉宿や寺社が立ち並び、その間を人や馬車が行き交う様子を描いた絵図を展示します。「草津の湯畑」や「伊香保の石段」など、昔ながらの風情を大切にしながらも、それぞれの温泉地が持つ特徴を引き出し、毎年、多くの観光客を招く群馬の温泉の魅力を、明治期以降の様々な文書や絵図で伝えます。</p>

第70回記念群馬県書道展覧会	一般社団法人群馬県書道協会	2019年12月6日～12月16日	群馬県立近代美術館	漢字、かな、墨象、大字・詩文書、篆刻の5部門において広く県民一般並びに専門家による日頃の書道活動の成果を発表・展覧する機会を設け、本県における書道の普及振興及び個性的で創造力豊かな県民文化の向上を図る。 会場はバリアフリー施設である。
第67回群馬県写真展覧会	群馬県写真文化協会	2019年9月22日～9月28日	群馬県庁県民ホール	群馬県民の写真芸術への創作力、鑑賞力を高めるため公募により作品を募集し、委嘱作家の作品と入賞・入選作品を展示します。展覧会はバリアフリー化された県庁1階県民ホールで、車椅子の方もゆっくり鑑賞していただけるスペースを確保して展示し、県内に限らず県外にお住まいの方も含む多くの人に鑑賞してもらえるよう開催することにより、写真芸術の魅力を発信します。
表現により繋がる地域の活力創造事業	アートによる対話を考える実行委員会	2019年4月1日～2020年3月31日	アーツ前橋ほか(市内高齢者施設、母子生活支援施設、小中学校など)	<p>本事業は、文化芸術の社会包摂機能が有する「コミュニケーションの場の提供」と「体験の共有の機会の創出」という2つの特性を活かして地域社会の中で生きづらさを抱える人々と向き合い、さらに周辺の人々を巻き込んで包摂していくことで地域内でのコミュニケーションの活性化とコミュニティの再生・形成を促していこうとするプログラムである。さらに、教育の現場との連携を深めることで、次代の文化の担い手となる児童・生徒達が身体的文化資本を蓄積する機会の提供に努め、世代や社会的境遇を超えて表現が人のライフサイクルにどのように寄り添っていかれるのかを考察しようとするものである。</p> <p>①アーティスト・イン・スクールプログラム、②引きこもり経験のある若者達の自立支援プログラム、③特別養護老人ホームでのセッション形式のワークショッププログラム、④母子生活支援施設入所者の交流プログラム、⑤市営住宅団地での新たなコミュニティ形成プログラム、⑥群馬県内で活動するセクシュアルマイノリティ支援団体とアーティストの交流プログラム、⑦事業をまとめ各機関の連携により学びや一体的な社会包摂を検討するためのシンポジウムの開催。以上のプログラムについて地域における社会包摂の中で美術館が果たす役割を考えながら広く、障害者の方も含め美術館に来るきっかけの少ない方たちにとって美術館が新たな居場所となるようなプログラムとする。</p>

<p>古典の日制定 記念「人形芝 居公演」</p>	<p>公益財団法人 群馬県教育文 化事業団</p>	<p>2019年10月13日</p>	<p>玉村町文化セ ンター</p>	<p>平成24年9月に古典の日(11月1日)が制定されたのを記念して、地域の伝統芸能を通して古典に親しみ、伝統文化への意識高揚を図るため県内で活躍している人形芝居各座の公演を開催します。今回は沼須人形保存会あけぼの座(一人遣い)、津久田人形操作伝承委員会桜座(三人遣い)が出演します。当日、会場では車いす来場者への介助を行います。</p>
<p>第7回GUNMAマンガ・アニメフェスタ</p>	<p>公益財団法人 群馬県教育文 化事業団</p>	<p>2020年2月15日～2月16日</p>	<p>群馬県生涯 学習センター</p>	<p>県民の個性豊かな文化の育成と創造を目指す文化芸術の祭典である「県民芸術祭」の一環として、新しい芸術として注目され、多彩な日本文化の一つである「メディア芸術」の祭典を開催することにより、創作の場や鑑賞機会を提供するとともに優れた作品を顕彰し、群馬県におけるメディア芸術の水準の向上と新しい才能の発掘を目指します。また、会場はバリアフリーになっており、車いすの方の来場が可能です。</p>
<p>第70回記念群馬県美術展覧会</p>	<p>群馬県美術会</p>	<p>2019年11月22日～12月1日</p>	<p>群馬県立近代美術館</p>	<p>日本画・洋画・彫刻・工芸の4部門において、広く県民一般ならびに専門家による日ごろの美術活動の成果を発表、展覧する機会を設け个性的で創造力豊かな県民文化の向上を図る。会場はバリアフリー施設である。</p>
<p>藩営前橋製糸所創業150年イベント「スイス・イタリアと藩営前橋製糸所」ーシルク・サミットin前橋Vol.2</p>	<p>前橋市</p>	<p>2019年9月7日</p>	<p>中央公民館</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の令和2年(2020)は、日本初の洋式器械製糸・藩営前橋製糸所開業150年と重なります。平成27年度から始めた「生糸のまち前橋発信事業」の調査結果により、同製糸所はスイス・イタリアとの関係が深いことが分かりました。 世界文化遺産である富岡製糸場で採用されたフランス式抱合装置と藩営前橋製糸所で採用されたイタリア式抱合装置については共にイタリア製であったことや、藩営前橋製糸所の指導者ミューラーの母国スイスでは、北イタリアへ出て製糸業を営んでいたことが分かり、イタリアとスイスとの交流に新たな発見がありました。また、ブリュナーと並ぶ日本蚕糸界の功労者ミューラーについてもその生涯や功績が明らかになっています。 そこで、「生糸のまち前橋」の礎を築いた藩営前橋製糸所とスイス・イタリアとの製糸技術の関係性を紐解きながら、スイス・イタリアからのインバウンド観光の可能性を探ります。</p>

<p>第4回 前橋四公祭</p>	<p>前橋四公祭実行委員会</p>	<p>2019年9月28日～11月10日</p>	<p>群馬会館</p>	<p>江戸時代に現在の前橋市域内を治めた、前橋藩主の酒井雅楽頭家・松平大和守家、総社藩主の秋元越中守家、大胡藩主の牧野駿河守家を「前橋四公」と称し、その功績を称えるとともに、これからのまちづくりに活用するため、「前橋四公祭」を開催する。10月5日当日は、講演会や前橋四公の逸話を紹介する創作劇「前橋四公物語」を上演。会場内に物販・飲食ブースとして「四公茶屋」を開き盛り立てる。さらに9月28日から11月10日を前橋四公月間に設定。四公スタンプラリーや前橋歴史観光ガイド、四公御廟所六寺社バスツアーなどの関連イベントを開催する。 会場の群馬会館はバリアフリー対応で、車いす観覧席の用意がある。看板等に英語表記をすることにより、外国の方も参加できるイベントとなっている。</p>
<p>大胡祇園まつり</p>	<p>大胡祇園まつり実行委員会</p>	<p>2019年7月27日～7月28日</p>	<p>JA前橋市大胡支所駐車場</p>	<p>大胡祇園まつりは、江戸時代末期に大胡で疫病が流行し、それを鎮めるために天王様と暴れ獅子が練り歩くようになったことが起源とされる催事と、山車の共演や会場での八木節、上州大胡風陣太鼓など、大胡地区の市民参加の催し物が楽しめるお祭りです。特に、2日目には暴れ獅子が地域の一軒一軒を揉んで回り、19時頃まつり本部に現れます。22時近くまで家々を揉み、八坂神社前に戻りクライマックスを迎えます。荒々しく町中を練り歩き、厄払いをする勇壮な姿は必見です。今年の初日は、大胡城・牧野氏まつりが同時開催され大胡の街がより一層盛り上がります。 海外の方にも日本の伝統文化を言語の不安なく楽しめるようよう、本部では英語対応のパンフレットも用意いたします。また、本部会場では車いすでの鑑賞も可能です。</p>

<p>山本高之と アーツ前橋の ビヨンド20XX: 未来を考える ための教室</p>	<p>前橋市</p>	<p>2019年7月19日～9 月16日</p>	<p>アーツ前橋</p>	<p>本展覧会は、アーティストの山本高之を招聘し、アーツ前橋の学芸員とアーティストが共にこれまで美術館が行ってきた活動を「ラーニング(相互的な学び)」の視点で振り返り、2020年の先を見据え、美術館での新しい学びの機会を創出します。これからの日本の未来を創っていく子どもたちや来場する市民(鑑賞者)を主体として捉え、「アートを体験する場所としての美術館」という視点から、新たなプログラムの提案を行います。</p> <p>会期中には、図工・美術と道德の専門家を招いた講演会等を開催し、日本の教育現場の事例を取り上げることで、これからの日本における学びの在り方を議論します。会期中のイベントや展覧会の様子及び会期を通じて議論された内容の一部をドキュメントブックとして制作します。ドキュメントブックには一部に英訳を入れ、当館の教育普及の新たな取り組みを紹介する資料として発行します。</p>
<p>ビーハーフ presents まえ ばし市民ミュー ジカル「鎮魂 華」本公演</p>	<p>まえばし市民 ミュージカル実 行委員会</p>	<p>2019年8月3日～8 月4日</p>	<p>昌賢学園まえ ばしホール (前橋市民文 化会館) 大 ホール</p>	<p>まえばし市民ミュージカルは、「悲惨な戦争体験を風化させない」という思いを後世に語り継ぐために、まえばし市民ミュージカル実行委員会が主催する2か年計画のミュージカル。平成30年8月のオーディションで選出された84人の市民が1年間練習を重ね、8月の本公演で練習の成果を見せるもの。今回からネーミングライツを導入し株式会社ビーハーフをネーミングライツスポンサーに決定した。</p> <p>なお、「鎮魂華」は「灰になった街」「我愛你(ウォーアイニー)」に続く前橋空襲三部作最終章。舞台は昭和15年から20年までの前橋とアメリカ・カリフォルニア。テーマは「華」で、石器の発見に賭ける若者たちの夢や、日系アメリカ人の過酷な運命を盛り込んだ壮大なスケールの物語である。</p> <p>会場の昌賢学園まえばしホール大ホールでは、車いすの方も観覧いただけます。</p>
<p>ぐんま子ども郷 土芸能祭り</p>	<p>公益財団法人 群馬県教育文 化事業団</p>	<p>2019年8月31日</p>	<p>ながめ余興場</p>	<p>県内各地に伝わる芸能は、それぞれの歴史や風土の異なる地域に暮らす人々の生活の中から生まれ伝承されてきた大切な宝です。先人から受け継いだ貴重な芸能公演を子どもが行うことにより、地域の伝統文化への関心を高めます。県内各地に伝わる芸能を継承する5団体(囃子・獅子舞・神楽・武術・伝統行事)による公演を行います。</p> <p>当日会場では、車いす来場者への介助を行います。</p>

沼田まつり	沼田まつり実行委員会	2019年8月3日～8月5日	沼田市内(本町通り・倉内通り・材木町通り・原町通り)	<p>沼田まつりは、江戸時代を起源とする須賀神社の「祇園祭」と「沼田まつり商工祭」が統合された沼田市民総参加の大祭です。古くから「おぎょん」と呼ばれており、毎年まつり3日間、延べ20万人以上の人出で賑わっています。須賀神社、榛名神社の両神社のみこし渡御をはじめ、優美華麗な10台の山車「まんど」の行列、市内各地域から参加する町みこしの共演、子供みこし行列、「千人おどり」と呼ばれる流し踊り等様々な行事が行われます。特に大天狗面をみこしに仕立て、約300人の女性だけで担ぐ「天狗みこし」は迫力満点です。この天狗みこしは、女性なら誰でも参加できます。市国際交流協会を通じて外国の方を募集し、本市にお住いの外国人や本市を訪れた皆さまにも参加いただいております。</p> <p>今年も、沼田商工会議所青年部により大型のウィング車輛を利用した観覧席を設けて車椅子でもまつりを安全に観覧できるバリアフリーのまつりを実施いたします。</p>
第3回 新陰流流祖祭	新陰流流祖祭実行委員会	2019年11月24日	西林寺／上泉町自治会館	<p>兵法「新陰流」の開祖で「剣聖」と称された上泉伊勢守信綱公を称え、本市上泉町及び桂萱地区を「新陰流の聖地・剣聖の里」として全国へ広めるため「新陰流流祖祭」を開催する。新陰流を現代に継承する「柳生新陰流」の宗家や伊勢守の子孫らによる新陰流演武と市重要文化財の「上泉獅子舞」による演舞。その他、刀剣鍛錬実演や宗家による講話、また信綱公ゆかりの寺社、城跡を巡る歴史観光ガイド実施する。歴史文化を活用し、信綱公の功績を広く伝承していくとともに、地域の産業や文化の振興を推進していくことを目的とする。</p> <p>会場のうち一般客席については、車いすでの鑑賞が可能です。</p>
酒井雅楽頭家管弦講の夕べ	龍海院	2019年9月29日	龍海院	<p>前橋を治めた四藩主「前橋四公」の一角で、前橋藩主を務めた酒井雅楽頭家。前橋の町割りの基礎は、9代約150年にわたる酒井雅楽頭家による統治によって築かれました。その功績を称えとともに、歴代藩主が眠る龍海院の酒井氏墓地を市内外へ発信するため、官職である「雅楽頭」に因み、日本を代表する雅楽師である東儀秀樹氏を招いた管弦楽によるイベントを開催します。会場では車いすでの鑑賞も可能です。</p>

<p>企画展 みんなの「ごんぎつね」～新美(にいみ)南吉(なんきち)からのメッセージ～</p>	<p>群馬県立土屋文明記念文学館</p>	<p>2019年7月13日～9月23日</p>	<p>群馬県立土屋文明記念文学館</p>	<p>新美南吉は、大正2年に愛知県知多郡半田町(現・半田市)に生まれました。10代半ばから童話や童謡を雑誌『少年倶楽部』や『愛誦』に投稿し、18歳で草稿「権狐」を執筆。「権狐」は、『赤い鳥』昭和7年1月号に「ごん狐」として掲載されました。本展では、小学校の教科書に掲載され、今もなお多くの人々に愛される物語「ごんぎつね」に焦点を当て、新美南吉の生涯とともに紹介します。かすや昌宏氏の光彩画による、幻想的な空間「ごんぎつねのへや」も見どころの一つです。</p>
<p>第22回太田国際音楽セミナーパートⅡ ピアノ部門</p>	<p>太田国際音楽セミナー実行委員会</p>	<p>2019年10月8日～10月13日</p>	<p>太田市民会館</p>	<p>海外より優秀な音楽家を招き最高レベルのピアノレッスン、コンサート、公開レッスンを開催する。又受講生のコンサートを開き若き才能の発掘と育成に努めるこのセミナーを通して海外への留学をした者も多く、帰国後は日本の音楽会で活躍している者も多い。会場には当日、車いすや視覚に障害のある方にもご観覧いただける席を用意します。</p>
<p>ロマン派音楽研究会 ROMUVE2019 企画第1弾 公開研究会『レクチャー&コンサート』東京藝術大学生とともに『ブルックナーを究(きわ)める』</p>	<p>ロマン派音楽研究会 ROMUVE</p>	<p>2019年9月29日</p>	<p>群馬県生涯学習センター 多目的ホール</p>	<p>ロマン派音楽研究会ROMUVEは、専門的に音楽家をを目指す学生とアマチュア音楽家が集まり、歴史、哲学など幅広い分野を学びながらロマン派音楽を掘り下げて学び、オーケストラ作品を創り上げていくワークショップです。今回申請対象であるレクチャー&コンサート『ブルックナーを究(きわ)める』は、ブルックナー研究の一環として、東京藝術大学作曲科の学生による専門的な作品アナリーゼの講演や東京藝術大学2年生を中心とするミレニアムシンフォニーの弦楽器奏者5名による、ブルックナーの交響的室内楽作品である「弦楽五重奏曲へ長調」の演奏会を開催します。天才たちの極めて高い技術と芸術性を国際的に発信する事業でもあります。</p>
<p>平成31年度 前橋市指定管理事業</p>	<p>公益財団法人前橋市まちづくり公社</p>	<p>2019年4月1日～2020年3月31日</p>	<p>昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)大・小ホール</p>	<p>市民の広範かつ多彩な芸術文化への要望に対応し、市からの指定管理事業である芸術文化事業を実施します。前橋市Presents舞台芸術祭2019(ザハーロウ&レーピン パド・ドウ、松田華音ピアノリサイタル、トム・プロジェクトプロデュース「A列車に乗っていこう」、菊池洋子with 群馬シティフィル、パク・キュヒ(朴葵姫)ギター・リサイタル、ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場オペラ、ベルリン・コンツェルトハウス室内オーケストラ、キエフ・バレエ)子供を対象とした事業(小学生芸術鑑賞公演 2019年度「劇団四季こころの劇場」、前橋こども芸能座、中学生のプラス! オンステージ2020)、伝統芸能・古典芸能(三遊亭円楽・春風亭昇太 二人会、群馬県和太鼓会結成35周年記念演奏会、神田松之丞独演会、長昌寺能)、その他、ポピュラー事業。</p>

<p>字幕付き人形芝居公演</p>	<p>公益財団法人群馬県教育文化事業団</p>	<p>2019年12月7日</p>	<p>吉岡町文化センター</p>	<p>日本語と英語の字幕付きの人形芝居公演を開催します。また、来場者に親しみと関心を持ってもらうため、人形の仕組みや操作の解説を行います。 出演は、みなかみ町で伝承されている古馬牧の人形浄瑠璃(下牧人形芝居保存会吉田座)です。古馬牧の人形浄瑠璃は、義太夫節と三味線に合わせて演じる三人遣いの人形芝居です。元禄年間に村の古老三人が伊勢参りの折、人形の頭を5つ買って帰ったのが始まりとされています。昭和58年に「古馬牧の人形浄瑠璃」として県重要無形民俗文化財に指定、昭和63年に群馬県教育文化功労賞、平成13年には文部科学大臣より「地域文化功労賞」を受賞しました。</p>
<p>群馬古墳フェスタ2019</p>	<p>群馬県</p>	<p>2019年6月2日</p>	<p>大室公園</p>	<p>群馬県が東日本最大の古墳大国であり、古代東国文化の中心地であったことを、県内外の多くの方々に再認識してもらうことを目的に開催する。 開催にあたっては、各種歴史体験、郷土料理の販売等、関連イベントを多数実施する。 会場となる大室公園は、多目的トイレやスロープ、障害者用駐車場等、バリアフリー設備が整備されており、障害者の参加・鑑賞に配慮した事業の実施が可能である。</p>
<p>ぐんまマラソン</p>	<p>群馬県、前橋市、高崎市、上毛新聞社、(一財)群馬陸上競技協会</p>	<p>2019年11月3日</p>	<p>正田醤油スタジアム群馬(メイン会場)</p>	<p>参加者約15,000人の群馬県内最大のランニングイベントです。「走る・支える・応援する」誰もが楽しめる大会、「自然・食・歴史文化」といった群馬の魅力を満喫できる大会の2点をコンセプトに大会を開催します。 種目はフルマラソン、10kmマラソン、リバーサイドジョギング(約4.2km)の3種類で、こどもから大人まで幅広い年齢の方が参加します。また、開会式・スタート位置には手話通訳者を配置し、リバーサイドジョギングには車椅子のランナーも参加しており、障害のある方も楽しめる大会です。 ランナー全員に群馬県の郷土料理である「おっきりこみ」を提供し、沿道では郷土の特色ある団体が応援に参加しており、ランナーに日本文化の魅力も発信しています。</p>
<p>まえばし和の文化の集い</p>	<p>前橋市文化協会</p>	<p>2019年10月26日</p>	<p>臨江閣</p>	<p>10月下旬、秋色深まる前橋公演北側に建つ臨江閣で開催する和の文化の催し。臨江閣は、明治17年建設の本館・茶室、明治43年建設の別館から成る近代和風木造建築物で、平成30年(2018年)8月17日、国重要文化財の指定を受けました。別館1階西洋間における華道の展示、別館2階180畳の大広間における邦楽、民謡民舞、八木節、居合道、大正琴、日本舞踊などの公演、本館・別館の和室における茶会の開催など、臨江閣の趣ある雰囲気の中で和の文化の魅力にふれていただけるイベントです。</p>

ふれあい体験事業	前橋市文化協会	2019年4月7日～11月24日	中央公民館、東公民館、宮城公民館、総合福祉会館、第二コミュニティーセンター、第三コミュニティーセンター、ぐんま武道館	ふれあい体験事業は、芸術文化の魅力を小中学生の子供たちにも身近に感じてもらおうと平成13年度に日本舞踊教室を試し、平成14年度から正式に開始された催しです。平成23年度には華道教室で一般成人を対象とした体験事業も始められました。2019年度は、バレエ、ビデオ制作、三味線、居合道、俳句、大正琴、吟剣詩舞道、箏、民謡民舞、八木節、日本舞踊、華道、茶道、将棋など17の体験教室を開催し、より多くの方々が多様な芸術文化の魅力にふれる機会を提供していきます。
前橋市民芸術文化祭	前橋市文化協会	2019年4月25日～2020年2月2日	昌賢学園まえばしホール、臨江閣、中央公民館、総合福祉会館、第三コミュニティーセンター、群馬会館	前橋市民芸術文化祭は、昭和53年に第1回目が開催された伝統ある事業です。その後、昭和56年の前橋市文化協会の設立を機に、前橋市と前橋市文化協会の主催事業として、昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)や中央公民館、臨江閣などを会場に開催されてきました。前橋市文化協会に所属している25部会と4支部の皆様による舞台発表、展示発表、講演会などの催しが年間を通して開催され、芸術文化の活動や日本文化の魅力を発信し、市民の文化意識の高揚に寄与している催しです。
2019年“生きる”小児がん征圧「天使の泉」チャリティー活動23年・54公演 群馬県第15回“生きる”小児がん征圧「天使の泉」チャリティー・コンサートin日本シャンソン館 Vol.54	清水康子「ひとつ」の会	2019年8月18日	日本シャンソン館 2F シャンソニエ「ヴェルメイユ」	小児がん征圧「天使の泉」は・・・1996年9月埼玉県川越市で行なわれた『生きるー小児がんの子どもたちとともに』(毎日新聞社・スポーツニッポン新聞社・石原プロモーション協力)のコンサートの裏方として清水康子が参加したのをきっかけに協力を呼びかけ、同年12月第1回開催。全国各地で賛同協力者を得て活動し22年54公演目の開催となりました。趣旨・目的・・・コンサートやディナーショーを通して、一人でも多くの方に「小児がん」という病気や、その病気と闘っている子どもたちのことを少しでもご理解いただき医療の発展、小児がん征圧へのご協力を呼びかけていくことを目的とし活動。募金箱の募金は、(財)毎日新聞社会事業団の『小児がん征圧募金』へ寄付、小児がんの子どもたちの為に使われます。

<p>第40回草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバル</p>	<p>公益財団法人 群馬草津国際 音楽協会</p>	<p>2019年8月17日～8 月31日</p>	<p>草津音楽の 森国際コン サートホー ル、草津温泉 スキー場天狗 山レストハウ ス、他</p>	<p>8月下旬の2週間、草津音楽の森国際コンサートホール及び天狗山レストハウスを中心会場として開催されるクラシック音楽の音楽祭です。日本の若手音楽家を対象とした世界各国から招いた一流の演奏家によるマスタークラスが15クラス開講され、内外から集まる受講生と熱心なレッスンが行われます。また、講師らによる一般の音楽愛好家を対象とした演奏会は17公演開催され、当音楽祭ならではのオリジナリティあふれるプログラムに多くのクラシックファンが集まります。音楽監督に作曲家の西村朗を迎え、日本の現代音楽を発信することにも熱心に取り組んでいます。1980年に第1回を開催し、今年は記念すべき40回目を迎えます。</p>
<p>企画展 ミステリー小説の夜明けー江戸川乱歩、横溝正史、渡辺啓助、渡辺温ー</p>	<p>群馬県立土屋 文明記念文学 館</p>	<p>2019年4月13日～6 月9日</p>	<p>群馬県立土 屋文明記念 文学館</p>	<p>ミステリー小説は、今日、たくさんの読者を抱える人気ジャンルのひとつとなっている。殊にその黎明期は、魅力的な作品を多く掲載した雑誌『新青年』が発行され、そこから江戸川乱歩、横溝正史等の人気作家が登場するなど、日本ミステリー小説において華々しい時代であった。本企画展では、その日本ミステリー小説黎明期にスポットを当て、雑誌『新青年』と、江戸川乱歩、横溝正史の世界に迫るとともに、群馬県渋川市ゆかりの探偵小説作家・渡辺啓助と、その弟・渡辺温の作品等を紹介する。</p>
<p>企画展 熊谷守一 いのちを見つめて</p>	<p>群馬県立館林 美術館</p>	<p>2019年4月20日～6 月23日</p>	<p>群馬県立館 林美術館</p>	<p>熊谷守一(1880-1977)は、明治から昭和の時代を生き、世代を超えて多くの人に愛されている画家です。岐阜出身の守一は、若い頃からアカデミックな美術教育に飽き足らず、花、猫、鳥、虫などの小さく愛らしい「いのち」を見つめて描き続け、平明かつ鮮やかな色彩で浮かび上がらせました。晩年には明確な輪郭線や単純化された形態、色面を特徴とする「モリカズ様式」を確立します。本展では、初期から晩年まで守一の画業の全貌を辿るとともに、日本画や書、素描も紹介し、その豊かな作品世界に迫ります。他に類をみない境地に達した画家の魅力を感じていただける貴重な機会となるでしょう。</p>
<p>前橋ミュージカル同好会 BaMbina 第9回公演「ジキルとハイド」</p>	<p>前橋ミュージカル同好会 BaMbina</p>	<p>2019年7月14日～7 月15日</p>	<p>ベシシア文化 ホール 小ホール</p>	<p>前橋近郊に在住・在学の高校生女子だけのミュージカル同好会「BaMbina」による「ジキルとハイド」の公演を行う。公演時間は2幕3時間である。脚本は、高校生らしさが出るものに編集しフレッシュなミュージカルを予定している。公演の運営だけでなく、その活動の発信なども高校生が主体的に取り組んでいる。会場は車椅子の方でも観劇できるよう配慮されている。また、地域連携の一環から、本イベントの事務局は共愛学園前橋国際大学のCOC推進本部事務局に置いている。</p>

<p>第4回大胡城・牧野氏まつり</p>	<p>大胡城・牧野氏まつり実行委員会</p>	<p>2019年7月27日</p>	<p>大胡シャンテ/ 大胡城址</p>	<p>江戸時代に現在の前橋市域を治めた四藩主「前橋四公」の一角である牧野駿河守家。特に、初代大胡城主・牧野康成公は、本市大胡地区の町割りの基礎を築いた名君であり、居城であった大胡城は、牧野家の歴代居城の中で唯一、大規模な城郭構造が残る城址となっている。この大胡城址を舞台とし、牧野家お抱えの「栃尾衆鉄砲隊」による演武や、牧野家ゆかりの「米百俵」の逸話をもとにした創作劇、さらにはこれも牧野家ゆかりの「忍者」の活躍をもとにした演劇などを、同家の歴史絵巻になぞりながら上演する。なお、同日は大胡城址周辺を会場に、講演会や歴史観光ガイド、武者行列などの関連イベントを実施。歴史文化を活用し、一日を通して大胡の街を盛り上げる。</p>
<p>第8回前橋かるた大会</p>	<p>前橋かるた会</p>	<p>2019年9月8日</p>	<p>前橋市中央公民館</p>	<p>群馬県及び近隣地域の百人一首かるた愛好者が一堂に会し、百人一首競技を通じて、競技力の向上、百人一首の普及及び参加者の親睦をはかる。中央公民館ホール外に百人一首かるたの英語説明を掲示するか、チラシを配布し、日本文化の魅力伝達を図る。約200名余の競技者と、係員40名が参加する。競技は技能によりA級からE級と初心者に分かれ、個人戦で3回の試合を行う。各級で1名の優勝と、数名の準優勝、三位を表彰する。beyond2020ロゴマーク入りのTシャツを準備し、買い取りを含め配布する。</p>
<p>第31回琴伝流大正琴群馬県大会</p>	<p>琴伝流大正琴群馬支部</p>	<p>2019年4月14日</p>	<p>みかぼみらい館 大ホール</p>	<p>日本の楽器である大正琴を、多くの方に知ってもらうために毎年県内各地で県大会を開催しています。地域文化の貢献と仲間づくりや親睦を図ること。そして次世代に継承して行きます。なお、会場のみかぼみらい館はバリアフリー対応です。</p>
<p>GKCぐんまかわいいかるちゃー</p>	<p>ぐんまかわいいプロジェクト</p>	<p>2019年4月14日</p>	<p>前橋プラザ元気21 1階にぎわいホール</p>	<p>東京五輪に向けて、群馬からかわいい文化などを発信しようをコンセプトに2017年に活動を始めたプロジェクトです。多種多様なかわいいものやことを発掘して広めていくイベント、GKCぐんまかわいいかるちゃーの開催は今回で3回目となります。作家・クリエイター、企業店舗、フード、地元マスコットキャラクター、県内高校大学生の写真展などおよそ25ブースが出店。当プロジェクトを広めるインフルエンサー、ぐんまかわいいプロジェクトPR大使を現在全国から一般公募しています。会場のにぎわいホールには、車いすでの使用が可能なトイレが設置されています。また、当日は通訳スタッフを配置します。</p>

上野三碑講演会(玉村町会場)	上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会	2019年3月17日	群馬県立女子大学 新館講義室	<p>平成29年10月にユネスコ「世界の記憶」に登録された、群馬発世界のたからもの「上野三碑」の価値と魅力について、幅広い世代の方に理解を深めていただくため、講演会を開催し、専門家の方々にわかりやすく解説していただくことにより、上野三碑が建立された7世紀後半から8世紀前半頃の群馬について学ぶことができます。</p> <p>なお、講演会場は、車いす対応の入口やエレベーター等も整備されていることから、どなたでも参加することができます。</p>
「第6回井上武士音楽祭」合唱コンクール	公益財団法人前橋市まちづくり公社	2019年7月15日	前橋テルサ 2階ホール	<p>このコンクールは、前橋出身の音楽教育者であり、日本の歌100選でもある「うみ」「チューリップ」をはじめ、数々の童謡・唱歌や校歌などを作曲した井上武士氏の作品を多くの皆さんに歌っていただくため、平成26年度の「井上武士生誕120周年記念音楽祭」を機に継続開催し、平成28年度より、公募による「合唱コンクール」と児童合唱団を中心とした「おもてなし演奏会」を開催し、合唱愛好者の交歓を深めるとともに地域の文化振興に寄与することを目的としています。</p>
群馬県戦略的文化芸術創造事業「千住明プロデュース・指揮 群馬交響楽団スペシャルコンサート 音楽会で展覧会」	群馬県戦略的文化芸術創造事業実行委員会	2019年3月9日	群馬音楽センター	<p>世界的な作曲家・千住明氏の名曲の数々を群馬交響楽団とゲストプレイヤーの演奏でお贈りするとともに、作品にちなむ名画や風景などの映像を迫力の大きスクリーンでお楽しみいただきます。「音楽会」と「展覧会」がコラボする、音楽とアートを五感で楽しむスペシャル企画。会場はバリアフリー対応で、車いす観覧席も確保しております。</p> <p>・演奏予定曲:千住明「ピアノ協奏曲『宿命』(ドラマ「砂の器」劇中テーマ曲)、図形楽譜「Notate with Nerve」より「カレンダー組曲」より、ほか</p> <p>・チケット:5,000円(全席指定・税込)</p>
第45回記念群馬芸術文化協会展	群馬芸術文化協会	2019年4月19日～4月24日	高崎シティ ギャラリー 第1、2展示室・予備室	<p>群馬で唯一の総合美術展、油彩、水彩、彫刻、陶芸、書道、写真等で秀でた作品が一同に鑑賞出来る美術フォーラムを開催して美術作品がどの様に出来るかを公開実習します。</p>
第6回GUNMAマンガ・アニメフェスタ	群馬県、GUNMAマンガ・アニメフェスタ実行委員会、第42回県民芸術祭運営委員会、公益財団法人群馬県教育文化事業団	2019年2月23日～2月24日	桐生市市民文化会館	<p>日本が世界をリードする新たな芸術分野であるマンガやアニメーション、映像などのメディア芸術について、その創作の場や鑑賞の機会を提供するとともに、優れた作品の顕彰を行うことで、本県メディア芸術の水準向上と新たな才能の発掘を目指し、「第6回GUNMAマンガ・アニメフェスタ」を開催します。</p> <p>なお、このイベントは、バリアフリー対応の会場で実施します。</p>

<p>第4回 藤岡クラフト春のアート&クラフト展</p>	<p>DESIGN ROCK FES 実行委員会</p>	<p>2019年3月30日～3月31日</p>	<p>道の駅 たらん 藤岡</p>	<p>群馬県の作家を中心に日本各地で活動する作家やその作品たちを紹介するための展示会。日本ならではの伝統工芸、陶磁器、木工品、革細工、ガラス細工、染織物などの手工芸やアート、イラストなどの新しい芸術作品が集まるイベントです。モノづくりを体験できるコーナーもあり、ここでしか体験できない日本のものづくりの楽しさを味わえます。</p>
<p>上野三碑講演会(桐生市新里町会場)</p>	<p>上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会</p>	<p>2019年2月17日</p>	<p>桐生市新里総合センターコミュニティ施設大会議室</p>	<p>平成29年10月にユネスコ「世界の記憶」に登録された、群馬発世界のたからもの「上野三碑」の価値と魅力について、幅広い世代の方に理解を深めていただくため、講演会を開催し、専門家の方々にわかりやすく解説していただきます。また、会場が桐生市新里町であるため、山上多重塔についても取り上げ、上野三碑及び山上多重塔が建立された7世紀後半から9世紀前半頃の群馬について学ぶことができます。 なお、講演会場は、優先駐車場やトイレ、車いす対応の入口やエレベーター等も整備されていることから、どなたでも参加することができます。</p>
<p>安中・群響を応援する会 創立30周年記念コンサート</p>	<p>安中・群響を応援する会</p>	<p>2019年3月30日</p>	<p>安中市文化センター</p>	<p>群馬交響楽団の財政難を支援しようと、昭和63年9月の第1回コンサートによって産声を上げた本会は、クラシック音楽ファンの市民を中心として、25回の群響シリーズ(有料)、10回の地元演奏家シリーズ(会員無料)などを行ってきました。一方で、同時期に設立された県内の数多くの応援する会が、会員の高齢化などにより活動を停止してしています。本会も最盛期は400人の会員がいて、コンサートには700人を集客したこともありますが、現在は170人の会員となり、コンサートも200人台となりました。それでも群響ファンズ(県民の会)を除き最後まで地域で続いた理由は、群響の最初の移動音楽教室を行った場所が安中市で、そのことに情熱を燃やした本会の初代会長で元教育長の情熱に導かれた会員が、この灯を絶やしてはならないという精神を受け継いできたからだと思えます。普段のコンサートが弦楽四重奏や金管五重奏などの小規模編成なのに対し、今回は15人編成にて実施して、身体・精神障害者にも入場可能な会場を使用します。</p>

2019-2020シーズン群馬交響楽団定期演奏会	公益財団法人群馬交響楽団	2019年4月13日～ 2020年3月22日	群馬音楽センター、高崎芸術劇場 他4会場 (桐生市市民文化会館、太田市民会館、東京オペラシティコンサートホール、すみだトリフォニーホール)	オーケストラの資質の向上と音楽芸術の追求を図るため、国内外から一流のゲストを招聘するとともに、芸術性や人気の高い作品から知られざる名曲まで幅広いプログラムを取り上げ年間10回の演奏会を本拠地ホールの群馬音楽センター、高崎芸術劇場(群馬県高崎市)で行います。また、年2回づつ同内容の演奏会を群馬県の東毛地区及び東京都内でも開催しております。
群馬県戦略的文化芸術創造事業「群馬のものがたり」	群馬県戦略的文化芸術創造事業実行委員会	2019年2月17日	臨江閣別館	群馬交響楽団の母胎のひとつとなった「上毛マンドリン倶楽部」を組織し、自ら作曲や編曲を行うなど、「音楽の中の詩人」と称されるほど西洋音楽を愛した前橋市出身の詩人 萩原朔太郎について、彼が実際に演奏を行った臨江閣を会場に、群馬交響楽団アンサンブルによる当時の演奏曲目の再現や、朔太郎と音楽との関係性についての講演、県内高校生等による詩の朗読、そして現代のアーティストによる朔太郎の詩をモチーフとした楽曲演奏を通じて、その魅力に迫る。○入場料 2,000円(未定)、定員200名、全席自由
ロマン派音楽研究会オーケストラROMUVE演奏会	ロマン派音楽研究会《ROMUVE》	2019年11月3日	玉村町文化センターにしきのホール(予定)	ロマン派音楽研究会《ROMUVE》は、専門的に音楽家を目指す学生とアマチュア音楽家が集まり、歴史、哲学、音楽理論など幅広い分野の専門家の指導を受けながらロマン派音楽を掘り下げて学び、共同でオーケストラ作品を創り上げていくワークショップです。今回申請対象である『オーケストラROMUVE演奏会』は、その研究成果を披露する集大成としてのイベントです。2016年度に続き開催する今回のプロジェクトでは、東京藝術大学生によるミレニアムシンフォニーから多数の参画を得て、世界にも誇れる若き天才たちの極めて高い技術と芸術性を国際的に発信する事業でもあります。
第33回高崎映画祭	高崎映画祭委員会	2019年3月23日～4月7日	群馬音楽センター、高崎市文化会館、高崎シティギャラリー、シネマテークたかさき、高崎電気館	高崎映画祭は、高崎市民はもとより日本国内の多くの映画ファンの支持をいただき、延べ1万人を超える観客を集めるまでの映画祭として定着してまいりました。第33回高崎映画祭も、市民グループ主催としての特色ある映画祭を目指します。「邦画洋画ドキュメンタリー」「監督たちの現在」に加え、地元高崎にてロケを行った「高崎FC協力作品」の上映を予定しております。そして「高崎の風物詩」として引き続き継続して参りたいと思います。第33回は2019年3月23日より4月7日までの16日間の日程でございます。

「いせさき銘仙の日」記念イベント	「いせさき銘仙の日」記念イベント実行委員会	2019年3月2日	伊勢崎市地域交流センター 赤石楽舎	伊勢崎市観光物産協会では、3月の第1土曜日を「いせさき銘仙の日」としています。伊勢崎銘仙は、大正から昭和初期にかけて全国で流行した絹織物で、豊富な色・柄や手織りの風合いが特徴です。伝統ある伊勢崎銘仙の良さを再認識し、広くPRするため、現代的な着こなしを披露する銘仙ファッションショーや、銘仙展、反物の販売など、伊勢崎銘仙に関するさまざまなイベントを開催します。
上野三碑ユネスコ「世界の記憶」登録1周年記念式典	上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会	2018年11月24日	高崎市吉井運動公園	昨年10月にユネスコ「世界の記憶」に登録された3つの古代の石碑である「上野三碑」の登録1周年を祝うとともに、上野三碑の価値や魅力を来場者に改めて知っていただくことを目的に開催するものである。式典では、登録を祝う記念式典や上野三碑をPRするためのパネル等の展示に加えて、「上州吉井太鼓」や「阿久津の獅子舞」など、地元の郷土芸能の演奏・披露することで、来場者に日本の文化の魅力に触れてもらう機会とする。また、式典会場の吉井運動公園内には、優先トイレや会場入口のスロープ等も整備されていることから、どなたでも参加出来る式典として開催することができる。
ぐんま三大梅林スタンプラリー	ぐんま三大梅林振興会議(群馬県)	2019年3月1日～5月6日	秋間梅林、榛名梅林、箕郷梅林、磯部温泉旅館組合事務所、恵みの湯、碓氷峠鉄道文化むら、榛名湖温泉ゆうすげ元湯、榛名神社、峠の湯、みさと芝桜公	<ul style="list-style-type: none"> ・秋間、榛名、箕郷の三大梅林と周辺観光施設においてスタンプラリーを実施。 ・ラリーポイント各所に多目的トイレを設置。 ・恵みの湯(日帰り温泉施設)では福祉浴室も完備しており、障害者の参加も促進している。
第7回KING OF JMK～おとな達の上毛かるた日本一決定戦～	一般社団法人KING OF JMK	2019年3月2日	板橋区立文化会館	KING OF JMKは、大人を対象とした上毛かるたの日本一決定戦です。選手には日本一の座をかけて腕を競っていただくのはもちろん、都内で開催することにより県内外問わずたくさんの方に群馬の魅力を上毛かるたを通じて理解してもらうことを目的としています。
平成30年度「ふるさと群馬のたからもの」文化財の絵コンクール入賞作品の展示	群馬県教育委員会	2018年11月3日～11月18日	群馬県庁31階 観光物産展示室	群馬県教育委員会では、児童生徒が自分たちの周囲にある文化財に気づき、身近なものとして興味関心をもってもらうために「ふるさと群馬のたからもの」文化財の絵コンクールを実施し、群馬県内にある指定文化財等を題材にした絵画を募集した。その入賞作品(最優秀賞 小学生の部1点・中学生の部1点、優秀賞 小・中学生の部8点、奨励賞 小・中学生の部16点)を展示する。

群馬古墳フェスタ2018	群馬県	2018年10月13日～10月14	(13日)高崎市 高崎産業技術専門学校 (14日)藤岡市 藤岡歴史館及び毛野園 白石丘陵公園	群馬県が東日本最大の古墳大国であり、古代東国文化の中心地であったことを、県内外の多くの方々に再認識してもらうことを目的に開催する。開催にあたっては、古代東国文化に関する専門家による講演会のほか、各種歴史体験、郷土料理の販売等、関連イベントを多数実施する。会場となる高崎産業技術専門学校及び藤岡歴史館は、多目的トイレやスロープ等、バリアフリー設備が整備されており、障害者の参加・鑑賞に配慮した事業の実施が可能である。
世界遺産・日本遺産等スタンプラリー	群馬県	2018年4月23日～2019年3月31日	県内	世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」、日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」、ぐんま絹遺産等の周遊促進を図るため、群馬県公式アプリ「きぬめぐり」を活用した様々なスタンプラリーを開催・世界遺産、日本遺産周遊スタンプラリー(4月23日～8月31日) ・上野三碑と富岡製糸場周遊チャレンジ(7月6日～9月30日) ・世界遺産キャンペーン周遊(7月～8月5日) ・シルク博in下仁田周遊チャレンジ(8月上旬～8月26日) ・日本遺産市町村周遊チャレンジ(仮称)(秋頃～3月31日)
繊維の魅力PRイベント「Fashionable Gunma」	群馬県	2018年10月12日～10月13日	群馬県庁 1階 県民ホール	和装、洋装(テキスタイル、刺繍、ニット等)、シルク製品など本県繊維産業の魅力を、主に若い世代をターゲットにPRし、県内繊維関連事業者の売上増やファン獲得を通じ産地の活性化を目指すため、群馬県庁を会場にファッションイベントを開催する。
群馬県戦略的文化芸術創造事業「世界遺産劇場」	群馬県	2018年9月8日～9月9日	富岡製糸場 東置繭所	近代日本の産業を牽引した世界遺産富岡製糸場の東置繭所を会場とし世界遺産劇場を開催。世界の宝である世界遺産を舞台に、トップアーティストによるコンサートと群馬交響楽団の共演を行います。(平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業)9月8日(土)スターダストレビュー(ファーストステージ 15時30分開始、セカンドステージ 18時30分開始)9月9日(日)木住野佳子 with ウィリアムス浩子(ファーストステージ 14時00分開始、セカンドステージ 18時00分開始)共通 チケット料金:5,000円(全席指定)

<p>第57回企画展 「化石動物園 ～哺乳類3億 年の歴史～」</p>	<p>群馬県</p>	<p>2018年7月14日～9 月2日</p>	<p>群馬県立自然史博物館</p>	<p>企画展「化石動物園」では、2018年1月に報告された新種のクジラ化石(群馬県立自然史博物館収蔵標本)、昭和36年8月に東京都昭島市で発見された「アキシマクジラ」の全身が初めて展示される。世界的にも希な、ほぼ全身が保存された鯨類化石であり、当館での研究により2018年1月にコクジラ科の新種とする論文が発表されたもので、群馬県における研究成果を知ってもらう貴重な機会である。</p>
<p>沼田まつり</p>	<p>沼田まつり実行委員会</p>	<p>2018年8月3日～8 月5日</p>	<p>沼田市本町通り・倉内通り・材木町通り・沼高通り</p>	<p>沼田まつりは、江戸時代を起源とする須賀神社の「祇園祭」と「沼田まつり商工祭」が統合された沼田市民総参加の大祭です。古くから「おぎょん」と呼ばれており、毎年まつり3日間、延べ20万人以上の人出で賑わっています。須賀神社、榛名神社の両神社のみこし渡御をはじめ、優美華麗な10台の山車「まんど」の行列、市内各地域から参加する町みこしの共演、子供みこし行列、「千人おどり」と呼ばれる流し踊り等様々な行事が行われます。特に大天狗面をみこしに仕立て、約300人の女性だけで担ぐ「天狗みこし」は迫力満点です。この天狗みこしは、女性なら誰でも参加できます。市国際交流協会を通じて外国の方を募集し、本市にお住いの外国人や本市を訪れた皆さまにも参加いただいております。今年も、沼田商工会議所青年部により大型のウイング車輛を利用した観覧席を設けて車椅子でもまつりを安全に観覧できるバリアフリーのまつりを実施いたします。</p>
<p>字幕付人形芝居公演</p>	<p>公益財団法人群馬県教育文化事業団</p>	<p>2018年12月8日</p>	<p>群馬県生涯学習センター</p>	<p>人形芝居公演を英語と日本語の字幕付きで行う。また、子どもや外国人にもわかりやすい解説や人形操作のワークショップを実施する。</p>
<p>企画展『生誕150年 湯浅一郎 明治元年、上州安中生まれの最初の洋画家』</p>	<p>群馬県</p>	<p>2018年4月28日～6 月17日</p>	<p>群馬県立近代美術館</p>	<p>明治元年、湯浅一郎は現在の群馬県安中市で生を受けました。醤油味噌醸造販売を営む裕福な家と、新島襄とも親交のあった先進的な父、治郎の存在による恵まれた環境のもと、当時はまだ珍しかった西洋画(油絵)に出会い、洋画家を志します。山本芳翠やフランスから帰国したばかりの黒田清輝に師事し、明るい光の反射や空気感を描き出す外光派と呼ばれた画風を身につけました。明治から昭和にかけての日本における激動の流れに身を置きながらも、湯浅は自分の絵を目でとらえることのできる世界に求め、その生涯をとおして何気ない日常的な女性の姿や風景を描き続けました。この展覧会は湯浅一郎の生誕150年を記念し、油彩、水彩、素描など約120点により、その画業をあらためてふりかえろうとするものです。</p>

ぐんまマラソン	群馬県、前橋市、高崎市、上毛新聞社、(一財)群馬陸上競技協会	2018年11月3日	正田醤油スタジアム群馬(メイン会場)	参加者約15,000人の群馬県内最大のランニングイベントです。「走る・支える・応援する」誰もが楽しめる大会、「自然・食・歴史文化」といった群馬の魅力を満喫できる大会の2点をコンセプトに大会を開催します。種目はフルマラソン、10kmマラソン、リバーサイドジョギング(約4.2km)の3種類で、こどもから大人まで幅広い年齢の方が参加します。また、開会式・スタート位置には手話通訳者を配置し、リバーサイドジョギングには車椅子のランナーも参加しており、障害のある方も楽しめる大会です。ランナー全員に群馬県の郷土料理である「おっきりこみ」を提供し、沿道では郷土の特色ある団体が応援に参加しており、ランナーに日本文化の魅力も発信しています。
群馬県ふるさと伝統工芸品展	群馬県、群馬県ふるさと伝統工芸士会	2018年5月31日～6月4日	群馬県庁 1階県民ホール北側	群馬県の郷土の自然と生活の中で育まれた「群馬県ふるさと伝統工芸品」を広く周知し、伝統工芸品産業の振興につなげることを目指し、群馬県が指定したふるさと伝統工芸品の展示・販売、伝統工芸士による実演などを実施します。
望郷ライン・センチュリーライド2018	望郷ライン・センチュリーライド実行委員会(利根沼田行政県税事務所)	2018年8月25～8月26日	昭和村総合運動公園ほか(利根沼田望郷ライン及びその沿線)	群馬県利根沼田地域の美しい山岳・田園風景の中を、思い思いのペースで楽しく走るサイクルイベントです。地元・生越太鼓の演奏による歓迎や、利根沼田の農産物を素材にした補給食の提供など、地域を挙げたおもてなしでお迎えいたします。また、台湾からの参加者には中国語の通訳も行っています。標高差のある厳しい山岳コースなので、一定の体力・経験を要しますが、最短距離のエンジョイコースは小学生から参加できるコース設定としています。視覚障害のある人のタンDEM(2人乗り)自転車でのご参加は、介助者の参加料を免除します。
上野三碑ユネスコ「世界の記憶」登録記念式典	上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会(群馬県)	2018年3月11日	群馬音楽センター	上野三碑のユネスコ「世界の記憶」登録を祝うため、地元の高崎市で開催する式典。式典のオープニングでは、高崎市出身の能楽師による能舞を行う予定で、演目は上野三碑に関連あるものを選定し、日本文化の魅力に触れてもらう機会としたい。上野三碑の価値は、古代の東アジアにおける文化交流や当時の家族制度を知ることが出来る点にある。また、この地域が石碑文化を受容する中で、渡来人や地元の人々といった多様な人々の共生社会が果たした役割は大きい。来場者に配付する予定の冊子には、ユネスコへ提出した英文の登録申請書を収録しており、日本人のみならず外国人にもその価値を伝えたい。

<p>企画展「富岡製糸場と絹産業遺産群—絹産業のあゆみと世界遺産—」</p>	<p>群馬県、群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会</p>	<p>2018年2月7日～2月21日</p>	<p>富岡製糸場東置繭所</p>	<p>本企画展では、世界遺産と地域を視角の主眼に置き、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」と関連する地域の遺産を総合的に展示することで、県内の絹産業遺産から見える世界遺産の価値について紹介する。世界遺産の紹介に関しては、日・英・中(繁・簡)・韓・仏・伊の多言語のパンフレットを用意している。展示においては、映像、パネル等を用いて視覚的に紹介するほか、実際に触って確認できる”もの”などの活用、また世界遺産伝道師協会ボランティアによる対話型の紹介をとおして広く一般に周知する。</p>
<p>第56回企画展「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」</p>	<p>群馬県</p>	<p>2018年3月17日～5月13日</p>	<p>群馬県立自然史博物館</p>	<p>「利根は坂東一の川」。このふるさとの川をぐんまちゃんと一緒に河口から源流部へ遡る旅をします。過去から未来へ、自然史の視点で利根川を紹介します。</p>
<p>ぐんま学生映像まつり2018</p>	<p>群馬県、ぐんまシネマネットワーク会議</p>	<p>2018年2月18日</p>	<p>プレビ劇場 IESAKI</p>	<p>映画・映像作品の鑑賞機会及び発表の場の提供を目的として、「ぐんま学生映像まつり2018」を開催する。群馬県内の高校生以上の学生が制作、または、学生の時に制作した作品を募集し、応募作品のうち一次審査通過作品を上映し、その中から最優秀賞及び優秀賞を決定して授賞式を行う。また、群馬県外の学生が制作した作品で、各種コンペにおいて賞を受けたものを招待して上映する。</p>
<p>第32回高崎映画祭</p>	<p>高崎映画祭委員会</p>	<p>2018年3月24日～4月8日</p>	<p>群馬音楽センター他 市内計5ヶ所</p>	<p>高崎映画祭は、高崎市民はもとより日本国内の多くの映画ファンの支持をいただき、延べ1万人を超える観客を集めるまでの映画祭として定着してまいりました。第32回高崎映画祭も、市民グループ主催としての特色ある映画祭を目指します。「邦画洋画ドキュメンタリー」「監督たちの現在」に加え、地元高崎にてロケを行った「高崎FC協力作品」の上映を予定しております。そして「高崎の風物詩」として引き続き継続して参りたいと思います。第32回は2018年3月24日より4月8日までの16日間の日程でございます。</p>

<p>第99回企画展 子供たちの戦争—ある少年が愛読した新聞・雑誌</p>	<p>群馬県立土屋文明記念文学館</p>	<p>2018年1月13日～3月18日</p>	<p>群馬県立土屋文明記念文学館</p>	<p>昭和7年生まれの戦時下の一人の少年が愛読した『少国民新聞』『幼年倶楽部』『少年倶楽部』等の新聞・雑誌を展覧します。平成24年にまとめて御寄贈いただいたこれらの資料は、少年とともに東京から群馬県勢多郡東村(現みどり市)へ疎開したことで、戦火を逃れ、大切に保管されて、奇跡的に素晴らしい保存状態で残されたものです。 テレビのない時代、子供たちに大きな影響力を持つメディアは新聞・雑誌でした。そこに掲載された記事や作品、雑誌の表紙絵からは、戦争中の子供たちを取りまいていた社会状況、新聞・雑誌から子供たちが受け取っていた情報、児童・少年向け文学が発していたメッセージを明確に見て取ることができます。</p>
<p>日中平和友好条約締結40周年記念事業『上野三碑ユネスコ「世界の記憶」登録記念日中書道展』</p>	<p>群馬県、高崎市、上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会</p>	<p>2018年2月23日～2月28日</p>	<p>高崎シティギャラリー</p>	<p>上野三碑のユネスコ「世界の記憶」登録を記念した書道展を、群馬県高崎市にある高崎シティギャラリーにて開催し、1300年に及ぶ日中の漢字文化交流を世界に発信したい。 作品展示内容は日本国内及び中国から各25点ずつ計50点を予定しており、可能な限り図録や展覧会場内の作品紹介も日本語、中国語により掲載(表示)する。 また、2018年4月には、上海市においても同様の展示内容での書道展を開催する予定。</p>
<p>2018-19シーズン群馬交響楽団定期演奏会</p>	<p>公益財団法人群馬交響楽団</p>	<p>2018年4月21日～2019年3月17日</p>	<p>群馬音楽センター他4会場(太田市民会館、桐生市市民文化会館、東京オペラシティコンサートホール、すみだトリフォニーホール)</p>	<p>オーケストラの資質の向上と音楽芸術の追求を図るため、国内外から一流のゲストを招聘するとともに、芸術性や人気の高い作品から知られざる名曲まで幅広いプログラムを取り上げ年間10回の演奏会を本拠地ホール(群馬県高崎市)の群馬音楽センター(群馬県高崎市)にて行っております。また、年2回づつ同内容の演奏会を群馬県の東毛地区及び東京都内でも開催しております。</p>
<p>群馬県立歴史博物館 第95回企画展「織田信長と上野国」</p>	<p>群馬県立歴史博物館</p>	<p>2018年3月17日～5月13日</p>	<p>群馬県立歴史博物館</p>	<p>天正10年(1582)、織田信長の軍勢が初めて碓氷峠と利根川を越え、本県は関東で唯一の織田氏の分国となり、厩橋城(前橋市)から信長の「東国御一統」が号令されました。徳川家康によって天下が統一されると、西上野の小幡氏の旧領(甘楽町)が信長の次男信雄に与えられ、ここに七代(1615～1767)続く小幡織田氏の歴史が刻まれます。本展覧会は、戦国時代から江戸時代へと続く群馬の歴史を織田氏と東西文化の交流を軸に構成し、歴史・考古・美術工芸資料を使って多面的に概観します。</p>

<p>群馬県立歴史博物館 第94回企画展「昭和な暮らし、そしてスバル。」</p>	<p>群馬県立歴史博物館</p>	<p>2017年12月16日～ 2018年2月25日</p>	<p>群馬県立歴史博物館</p>	<p>この企画展は、昭和30年代から40年代にかけて、日本経済が大きく成長した時期(高度経済成長期)を中心に、人々の暮らしが変化していく姿を、道具を通じて感じ取っていただくことを狙いとしています。 二部構成の展示は、第1部では、明治時代～平成の様々な道具を展示することで、その変化からくらしの変化を読み取っていただきます。第2部では、「ものづくり立県ぐんま」の原点であり、本県の産業を牽引する株式会社SUBARU及び関連企業の協賛のもと、クルマづくりに焦点をあて、ものづくりと人との関わりを紹介します。自動車のデザインや技術の関わる6名のエンジニアの方々のインタビューを紹介するほか、同社のコンセプトカーを展示します。</p>
<p>演劇ワークショップ</p>	<p>邑楽町教育委員会</p>	<p>2017年12月4日～ 2018年1月28日</p>	<p>長柄公民館</p>	<p>舞台美術と演出について、日本を代表する講師を招き演劇のワークショップを行う。柔軟性や想像力豊かな新たな文化を創造する表現者を育成する。</p>
<p>平成29年度グッドデザインぐんま商品展示会</p>	<p>群馬県産業デザイン振興協議会</p>	<p>2018年2月2日～2月5日</p>	<p>けやきウォーク前橋</p>	<p>群馬県では、デザインに対する理解と関心を深め、地域の産業振興及び個性的で豊かな県民生活の形成に資することを目的として、優れたデザインの工業製品等を選定・推奨しています。 平成29年度に選定された商品のカタログを作成するほか、商品展示会を開催します。 ※会場であるけやきウォーク前橋には、おもいやり駐車場や、多目的トイレがあります。</p>
<p>企画展示「粋な古伊万里 一江戸好みのうつわデザイン」</p>	<p>群馬県立館林美術館(群馬県)</p>	<p>2018年1月20日～4月8日</p>	<p>群馬県立館林美術館</p>	<p>江戸初期に今の佐賀県有田で作られ始めた初の国産磁器である伊万里焼は、庶民の暮らしにゆとりが生まれた江戸中期以降、豪華絢爛な作風に代わり、江戸で栄えた町民文化に溶け込むように実用的な食器を生産するようになります。本展は、日本初公開のコレクションによって、江戸の「いき」を背景に紹介します。</p>

ぐんま三大梅林スタンプラリー	ぐんま三大梅林振興会議 (群馬県)	2018年3月1日～5月6日	秋間梅林、榛名梅林、箕郷梅林、磯部温泉旅館組合事務所、恵みの湯、碓氷峠鉄道文化むら、榛名湖温泉ゆうすげ元湯、榛名神社、峠の湯、みさと芝桜公園	<ul style="list-style-type: none"> ・秋間、榛名、箕郷の三大梅林と周辺観光施設においてスタンプラリーを実施。 ・ラリーポイント各所に多目的トイレを設置。 ・恵みの湯(日帰り温泉施設)では福祉浴室も完備しており、障害者の参加も促進している。
ユネスコ「世界の記憶」登録 上野三碑 日中韓国国際シンポジウム(東京会場)	上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会 (群馬県)	2017年12月10日	東京国際交流館 プラザ平成3階国際交流会議場	中国と韓国を代表する古代史の研究者と上野三碑の「世界の記憶」登録に携わった国内の専門家が集い、『世界が認めた価値と文化交流の記憶』をテーマとしたシンポジウムを、全国へ情報発信を行うため、東京で開催する。
ユネスコ「世界の記憶」登録 上野三碑 日中韓国国際シンポジウム(高崎会場)	上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会 (群馬県)	2017年12月9日	吉井文化会館	中国と韓国を代表する古代史の研究者と上野三碑の「世界の記憶」登録に携わった国内の専門家が集い、『世界が認めた価値と文化交流の記憶』をテーマとしたシンポジウムを、上野三碑のひとつ多胡碑のある高崎市吉井町で開催する。
平成29年度「ふるさと群馬のたからもの」文化財の絵コンクール入賞作品の展示	群馬県教育委員会	2017年11月11日～11月19日	群馬県庁31階 観光物産展示室	群馬県教育委員会では、児童生徒が自分たちの周囲にある文化財に気づき、身近なものとして興味関心をもってもらうために「ふるさと群馬のたからもの」文化財の絵コンクールを実施し、群馬県内にある文化財を題材にした絵画を募集した。その入賞作品(最優秀賞 小学生の部1点・中学生の部1点、優秀賞 小・中学生の部8点、奨励賞 小・中学生の部16点)を展示する。
北関東三県ウまいもん合戦in桐生2017	北関東三県ウまいもん合戦実行委員会	2017年10月28～10月29日	桐生市運動公園	北関東三県から各地の名産品が集まるグルメイベント。来場者は、名産品を通じて、各地域の文化に触れることができる。また、ステージイベントでは、北関東三県のご当地キャラクターやご当地アイドルのステージも実施し、各県の魅力をPRする。周知においては、県ホームページにて、英語・中国語・韓国語等への翻訳を通じ、国内の外国人のほか、海外からの観光客等、様々な方に参加を呼び掛ける。

<p>みちえきマル シェin伊勢崎2 017</p>	<p>群馬県</p>	<p>2017年12月10日</p>	<p>SMARK伊勢 崎はるなプラ ザ</p>	<p>群馬県西部のかんな・かぶら地域の7市町村にある8つの道の駅が協力し、各地域の食文化を象徴する特産品を持ち寄り、県内外からの参加者に対する販売のほか、本年は新たに試食提供を実施し、ご当地キャラクターショー等も拡充して誘客を図ります。本事業により、地域の一体感を高めるとともに、両地域の食文化等の魅力を発信して観光PRを行い、県内外との交流を深めます。会場は、バリアフリー対応の集客施設であり、キャラクターショー等の際には、ステージ前に車いす専用スペースを設置予定です。</p>
<p>大人の「上毛 かるた」県大会</p>	<p>大人の「上毛 かるた」県大 会実行委員会</p>	<p>2017年11月26日</p>	<p>ALSOKぐんま 総合スポーツ センター ALSOKぐんま 武道館</p>	<p>群馬県内で育った人なら誰でも知っている「上毛かるた」は、赤城山、榛名山、妙義山の上毛三山をはじめとした県内の自然や温泉、歴史上の人物や地域の産業など群馬県の特徴がそれぞれの札に読み込まれており、時代を超えて親しまれ、今でも小・中学生を対象に「上毛かるた」競技県大会が毎年開かれるなど群馬県の文化を代表するものである。今年は、「上毛かるた」の発行70周年という記念の年であることから、大人(20歳以上)の「上毛かるた」団体競技、上毛かるたグッズの販売、県内ゆるキャラによるイベント等を開催し、「上毛かるた」を通して群馬県内外の幅広い世代の方々に群馬県への愛着を深めてもらい、群馬の魅力を全国に発信する。</p>
<p>ぐんまマラソン</p>	<p>ぐんまマラソン 実行委員会</p>	<p>2017年11月3日</p>	<p>正田醤油スタ ジアム群馬 (メイン会場)</p>	<p>参加者約15,000人の群馬県内最大のランニングイベントです。「走る・支える・応援する」誰もが楽しめる大会、「自然・食・歴史文化」といった群馬の魅力を満喫できる大会の2点をコンセプトに大会を開催します。種目はフルマラソン、10kmマラソン、リバーサイドジョギング(約4.2km)の3種類で、こどもから大人まで幅広い年齢の方が参加します。また、開会式・スタート位置には手話通訳者を配置し、リバーサイドジョギングには車椅子のランナーも参加しており、障害のある方も楽しめる大会です。ランナー全員に群馬県の郷土料理である「おっきりこみ」を提供し、沿道では郷土の特色ある団体が応援に参加しており、ランナーに日本文化の魅力も発信しています。</p>
<p>字幕付人形芝 居公演</p>	<p>公益財団法人 群馬県教育文 化事業団</p>	<p>2018年3月3日</p>	<p>群馬県生涯 学習センター</p>	<p>人形芝居公演を英語と日本語の字幕付きで行う。また、子どもや外国人にもわかりやすい解説や人形操作のワークショップを実施する。</p>

第6回古代東 国文化サミット	群馬県	2017年11月19日	群馬の森内	<p>群馬県が東日本最大の古墳大国であり、古代東国文化の中心地であったことを、県内外の多くの方々に再認識してもらうことを目的に開催する。</p> <p>開催にあたっては、古代東国文化に関する専門家による講演会のほか、県内小中学生による創作古代劇の上演、古墳巡り、子ども向けの発掘体験や、郷土料理の販売等、関連イベントを多数実施する。</p> <p>会場となる群馬県立歴史博物館は、多目的トイレやスロープ等、バリアフリー設備が整備されており、障害者の参加・鑑賞に配慮した事業の実施が可能である。</p>
-------------------	-----	-------------	-------	--